

# SEPTENI

2019年9月期

## 第4四半期（通期） 決算説明会

株式会社セプテーニ・ホールディングス

[www.septeni-holdings.co.jp](http://www.septeni-holdings.co.jp)

2019年10月29日

## 01 2019/9期 通期レビュー

## 02 四半期連結決算概要

## 03 ネットマーケティング事業

## 04 メディアコンテンツ事業

## 05 中期経営方針のアップデート

## 06 2020/9期 業績予想

## 07 補足資料

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております。

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております。  
ネットマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります。

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております。

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております。

従来より各セグメントへ配賦していた全社費用について、2018年9月期以降は配賦を行わない方針に変更しております。  
当変更に伴い、過年度のセグメント別Non-GAAP営業利益は全社費用を配賦しない基準にて遡及修正しております。

# 01

2019/9期 通期レビュー

連 結

収益

**16,796**百万円（前年同期比**10.0%増**）

Non-GAAP営業利益

**2,065**百万円（前年同期比**約2倍**）

前年同期比で増収、Non-GAAP営業利益は約2倍の高成長

ネット  
マーケ  
ティング  
事業

## 収益

**15,079**百万円（前年同期比 **5.9%増**）

## Non-GAAP営業利益

**4,775**百万円（前年同期比 **18.6%増**）

オーガニック成長と電通提携の進捗により増収増益

メディア  
コンテンツ  
事業

## 収益

**2,005**百万円（前年同期比 **51.4%**増）

## Non-GAAP営業利益

**-901**百万円（前年同期比 **150**百万円赤字縮小）

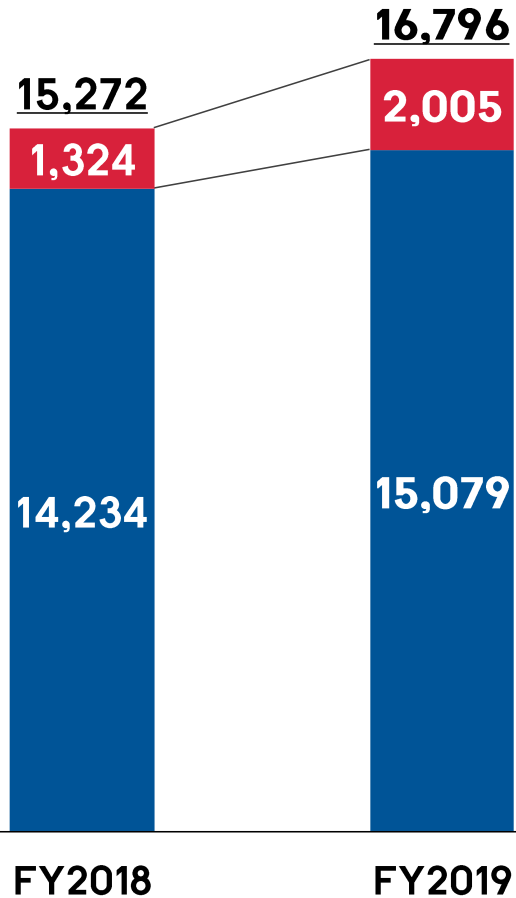
収益拡大により赤字縮小

(単位：百万円)	2019年9月期 通期			2018/9期 通期		2019年9月期 通期業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	16,796	100.0%	+10.0%	15,272	100.0%	17,200	97.6%
売上総利益	13,963	83.1%	+10.2%	12,674	83.0%	—	—
販売管理費	11,924	71.0%	+2.0%	11,693	76.6%	—	—
①Non-GAAP営業利益	2,065	12.3%	+104.2%	1,011	6.6%	2,000	103.2%
②調整額※ (その他の収益/費用)	-1,882	—	—	-34	—	—	—
③営業利益 (①+②)	183	1.1%	-81.3%	977	6.4%	—	—
④持分法による投資利益等	-264	—	—	377	0.5%	—	—
⑤法人税所得税費用等	466	2.8%	-8.1%	507	0.7%	—	—
⑥親会社の所有者に帰属する 当期利益 (③+④-⑤)	-547	—	—	847	5.6%	-734	—
【参考】売上高	76,501	—	+5.6%	72,443	—	77,000	99.4%

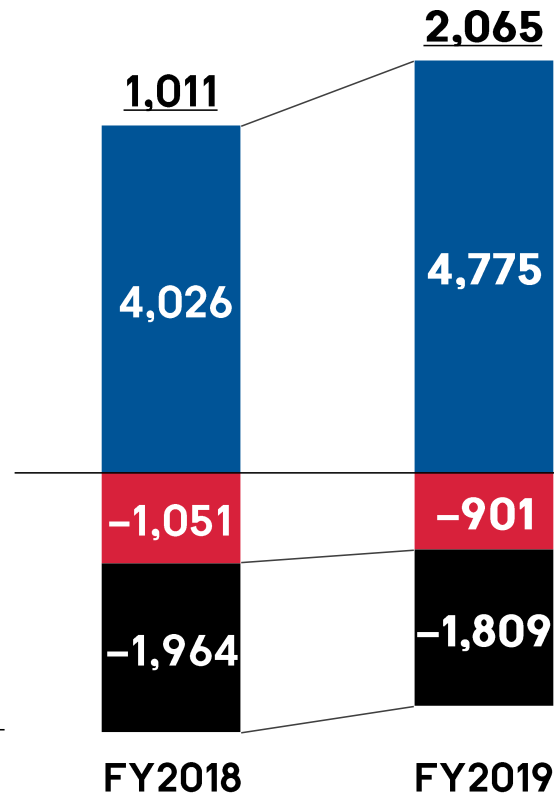
※調整額は、その他の収益における一時的な利益及びその他の費用における一時的な損失の合計値となります。主にLion & Lion社に係るのれん等の減損損失1,802百万円が含まれております。

**業績予想に対し、収益は若干下回って着地、  
Non-GAAP営業利益は予想を超過**

## 収益



## Non-GAAP営業利益

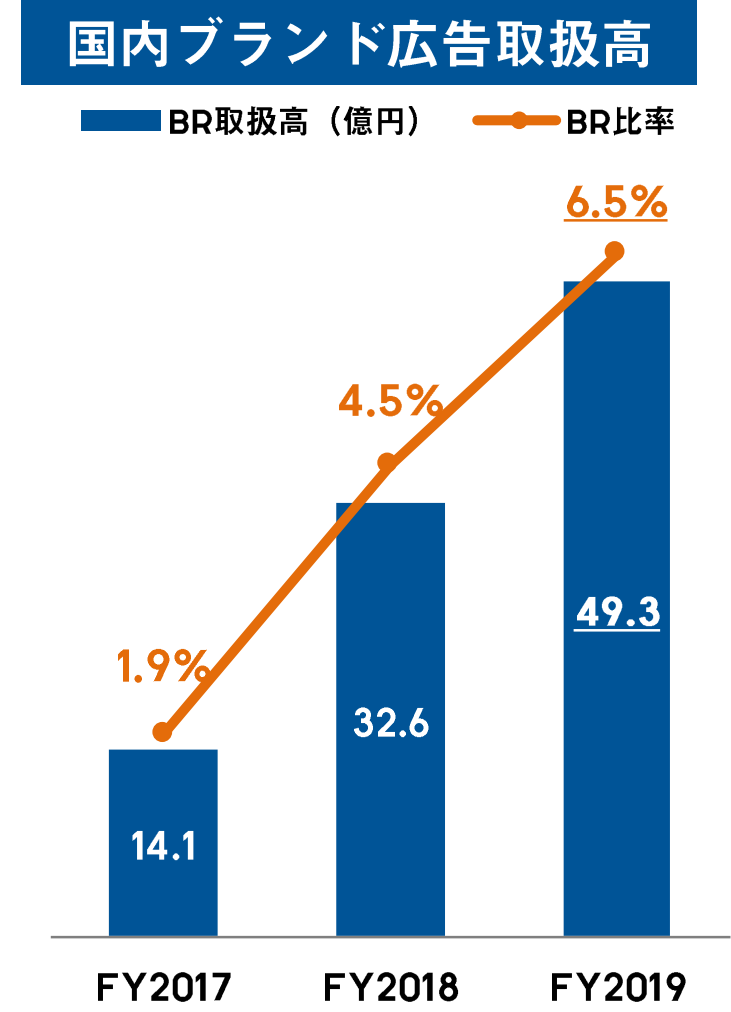
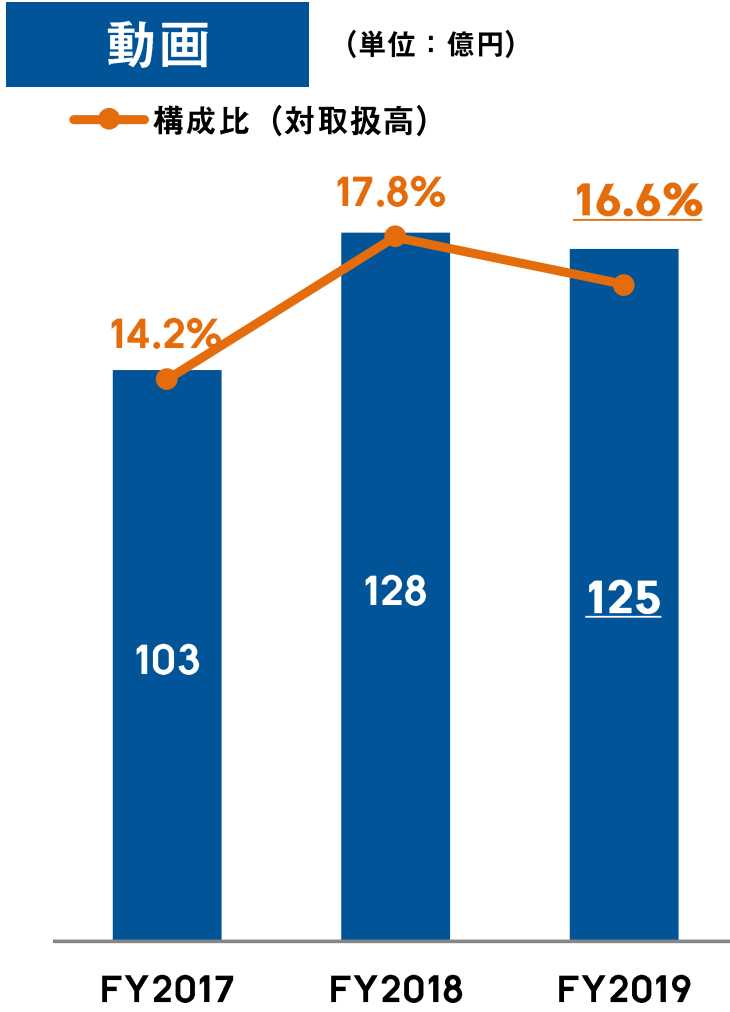
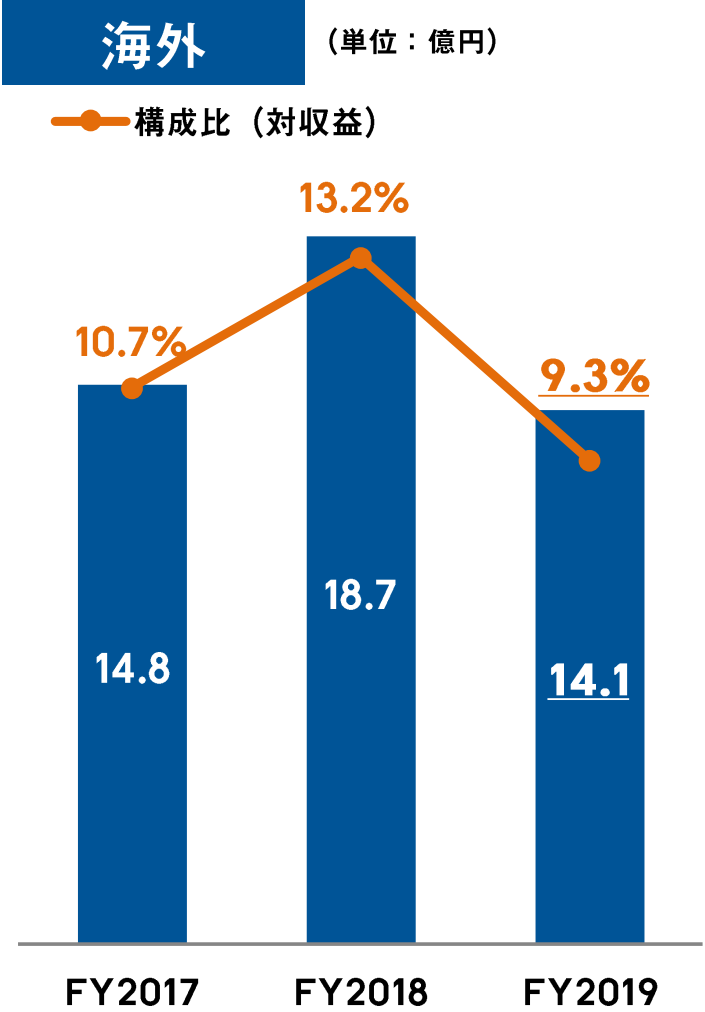


各セグメントともに  
**前期比で増収増益**  
 ネットマーケティング  
 事業は**3期ぶりに増益**

■ ネットマーケティング ■ メディアコンテンツ ■ 調整額（全社費用等）（単位：百万円）

※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

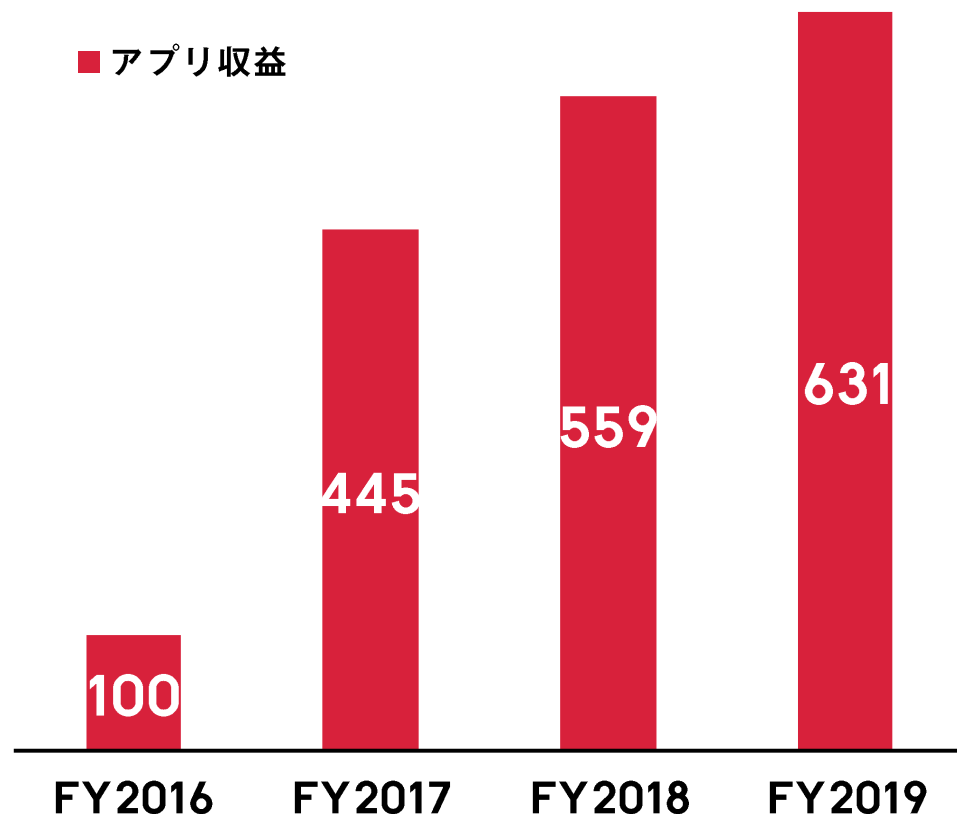




海外収益は減収、動画広告は微減となるも  
ブランド広告が2年で3.5倍へと急拡大

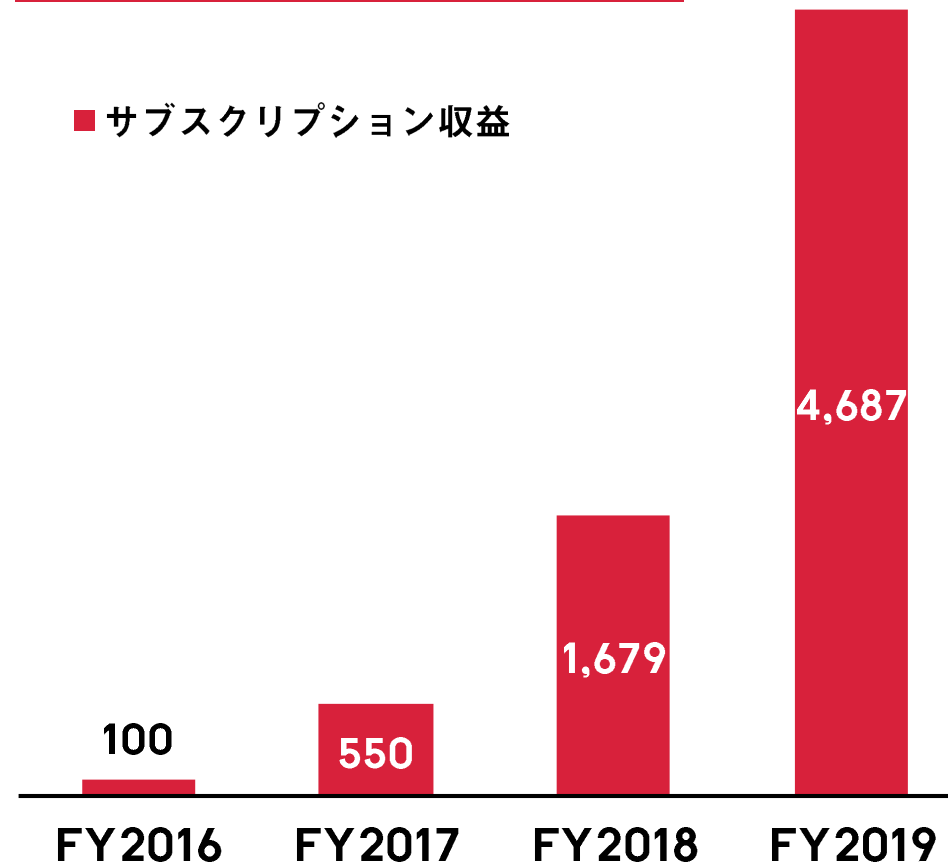
## アプリ収益

■ アプリ収益

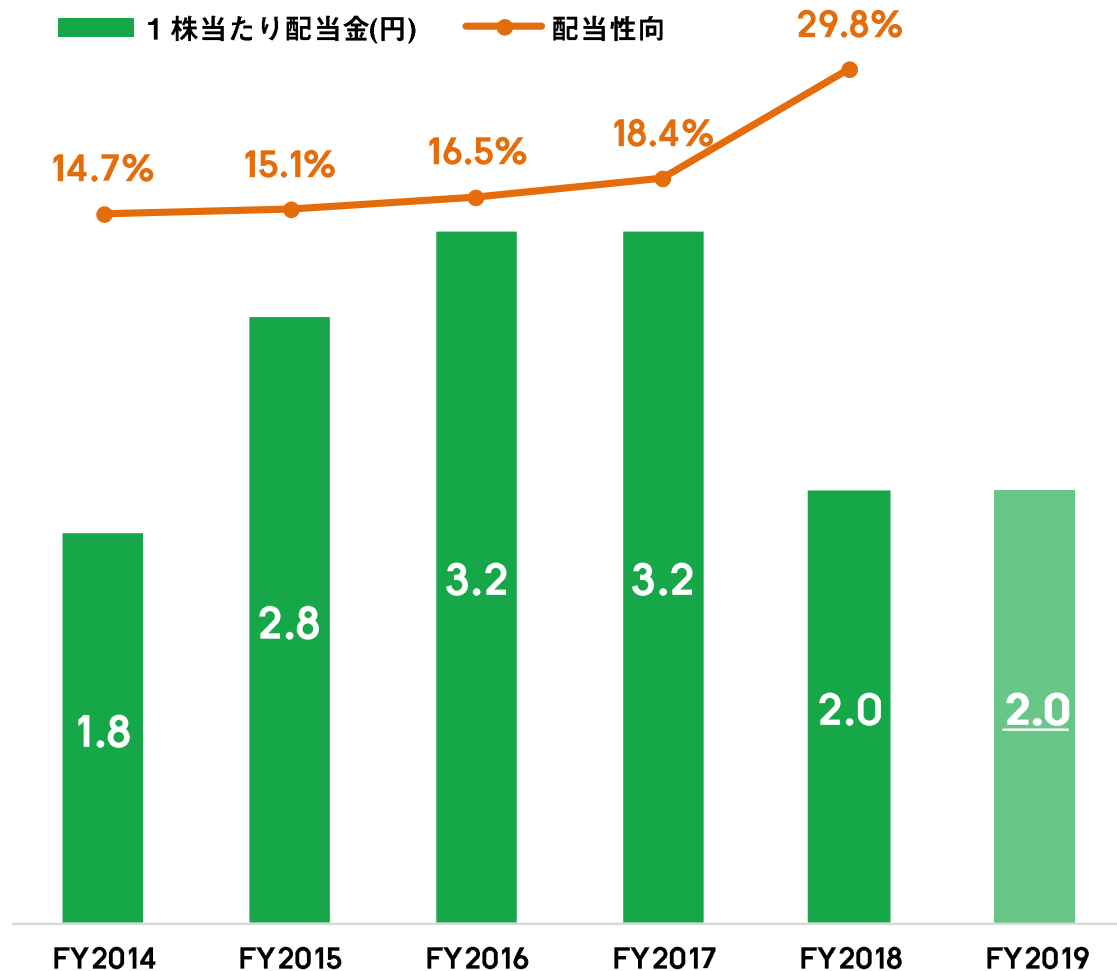


## サブスクリプション収益

■ サブスクリプション収益



ブランド広告とサブスクリプション収益の拡大が  
けん引し、アプリ収益が伸長



減損により当期利益は一時的に落ち込むも、当事業年度のキャッシュフローに影響はなし

配当の継続性・安定性に配慮し  
2019年9月期の期末配当金は  
**2.0円（下限）**を予定

※2016年10月1日付で1：5の株式分割を実施。上記グラフの過年度1株当たり配当金は、分割調整後の金額を算出し、比較

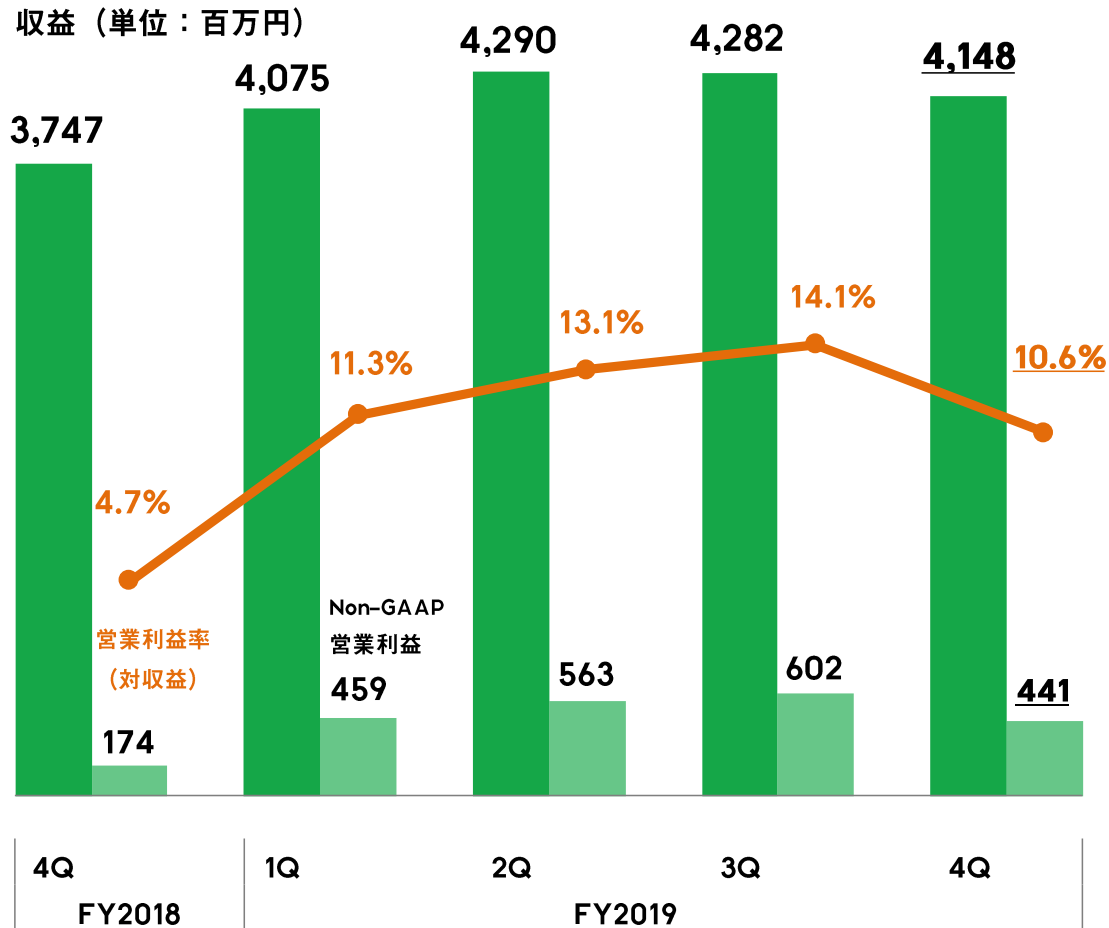
# 02

## 四半期連結決算概要

(単位：百万円)	2019年9月期4Q			2018/9月期4Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	4,148	100.0%	+10.7%	3,747	100.0%
売上総利益	3,418	82.4%	+11.4%	3,068	81.9%
販売管理費	2,985	72.0%	+2.5%	2,912	77.7%
<b>Non-GAAP営業利益</b>	<b>441</b>	10.6%	+152.7%	174(※)	4.7%
営業利益	427	10.3%	+183.7%	150	4.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	467	11.3%	+488.3%	79	2.1%
<b>【参考】売上高</b>	<b>18,018</b>	—	-0.5%	18,107	—

※2019年9月期第1四半期決算説明会資料から記載に一部誤記があったため当四半期にて訂正しております。訂正前179→訂正後174。以降の該当ページにおいても反映。

**Lion & Lion社の構造改革費用52百万円による一時的な販管費増の一方、  
オーガニック成長が寄与し増収増益**



収益 **4,148**百万円  
 （前年同期比 **10.7%**増）

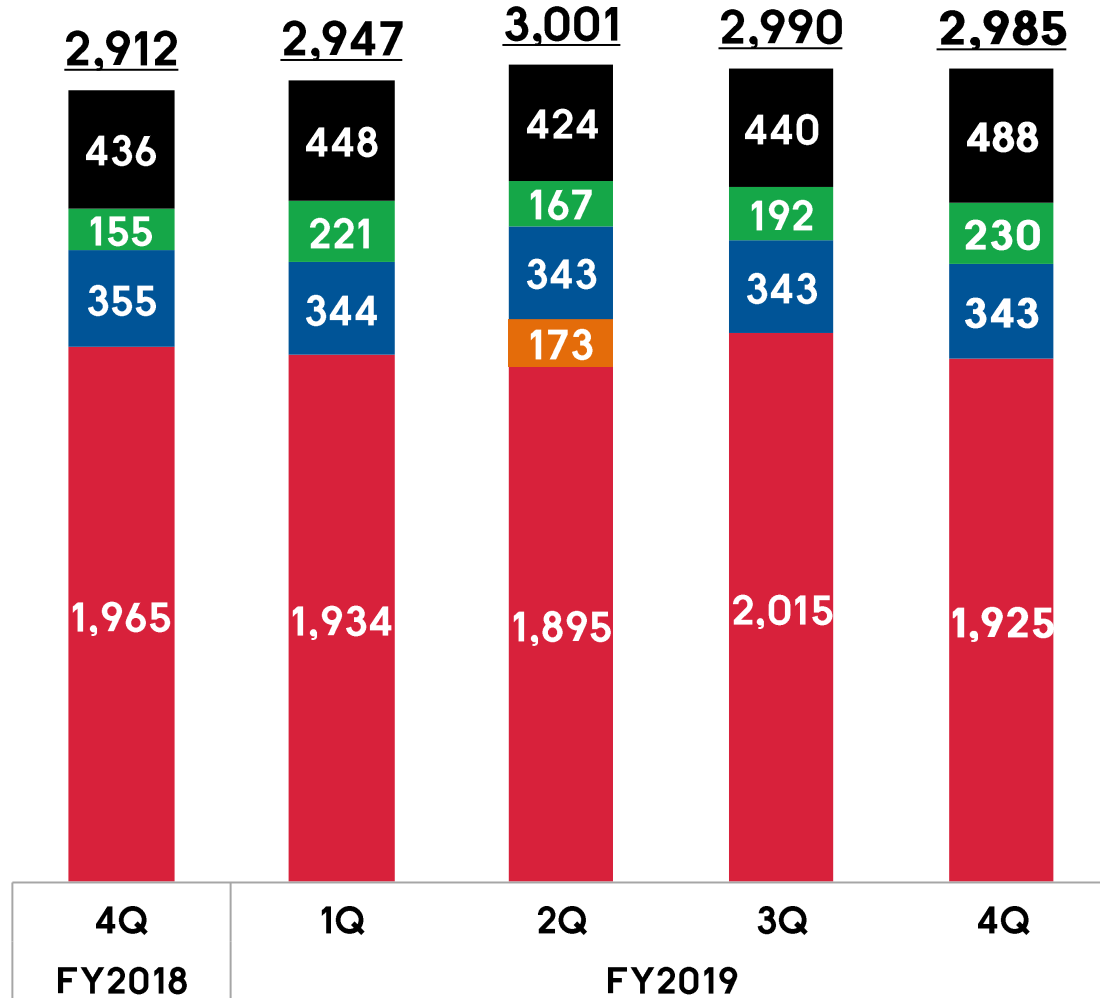
Non-GAAP営業利益 **441**百万円  
 （前年同期比 **約2.5倍**）

前年同期比で増収が継続、Non-GAAP営業利益は大幅回復

(単位：百万円)	FY2018	FY2019				QonQ	YonY
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
売上原価合計	679	673	740	690	728	+5.6%	+7.2%
人件費	237	273	286	230	238	+3.3%	+0.4%
外注費	199	95	143	98	112	+15.2%	-43.6%
その他	243	306	311	362	378	+4.3%	+55.3%
販管費合計	2,912	2,947	3,001	2,990	2,985	-0.2%	+2.5%
人件費	1,965	1,934	1,895	2,015	1,925	-4.5%	-2.1%
追加決算賞与	—	—	173	—	—	—	—
賃借料	355	344	343	343	343	-0.1%	-3.5%
販促費・広告費	155	221	167	192	230	+19.7%	+48.7%
その他	436	448	424	440	488	+10.9%	+11.7%

メディアコンテンツ事業の拡大に伴い原価増  
コストコントロールは継続実施

■ 人件費 ■ 追加決算賞与 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ その他 (単位：百万円)



コストコントロールの  
成果が継続、  
FY2019/4Qも販管費は  
計画通りに進捗

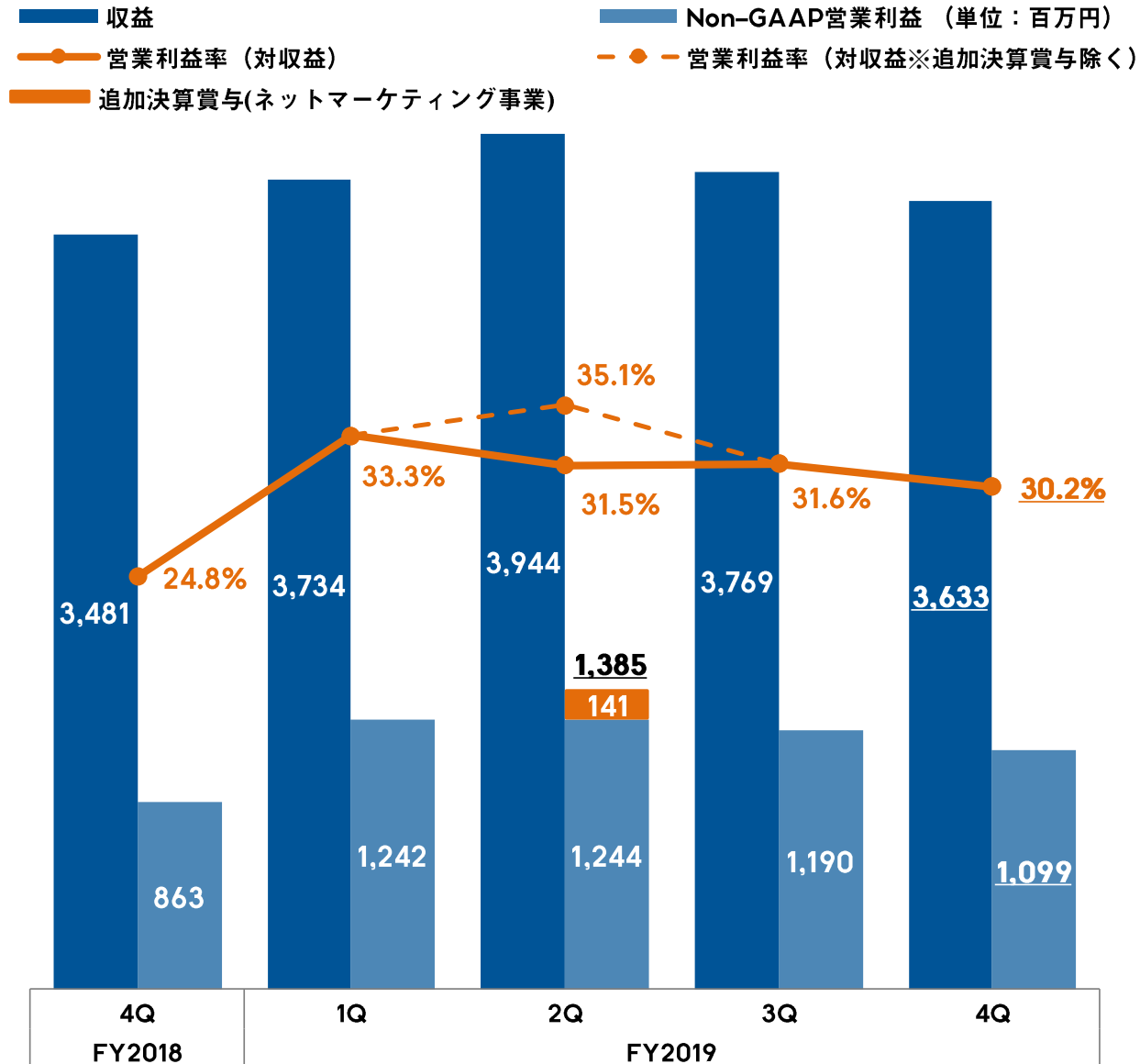


# 03

ネットマーケティング事業

(単位：百万円)	2019年9月期 4Q			2018/9期 4Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	3,633	100.0%	+4.4%	3,481	100.0%
売上総利益	3,142	86.5%	+6.2%	2,957	85.0%
販売管理費	2,051	56.5%	-2.6%	2,106	60.5%
Non-GAAP 営業利益	1,099	30.2%	+27.4%	863	24.8%
【参考】売上高	17,639	—	-1.8%	17,961	—

電通提携の短期施策が順調に拡大し増収、大幅増益

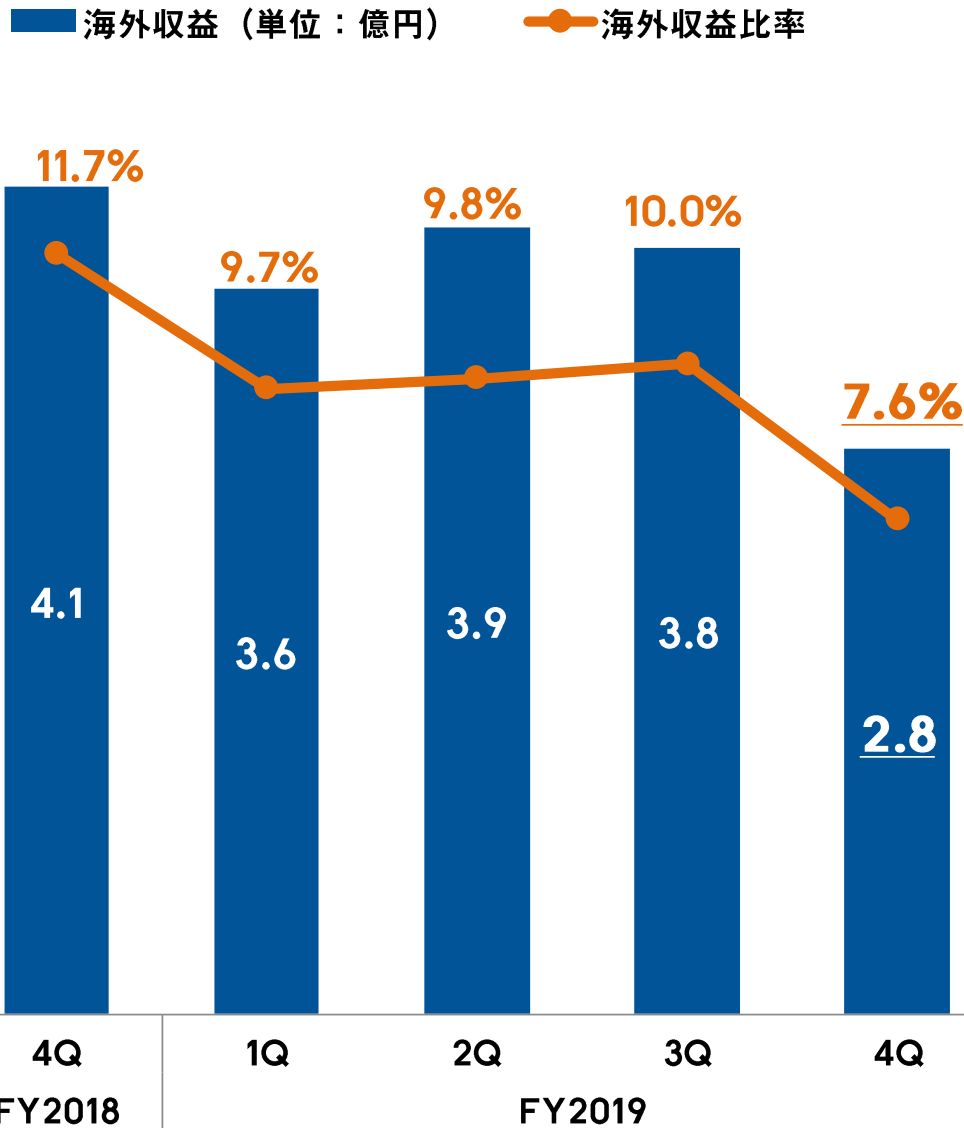


Lion & Lion社に係る  
構造改革費用を中心に  
QonQで減益

前年同期比では  
+4.4%の増収、  
+27.4%の増益

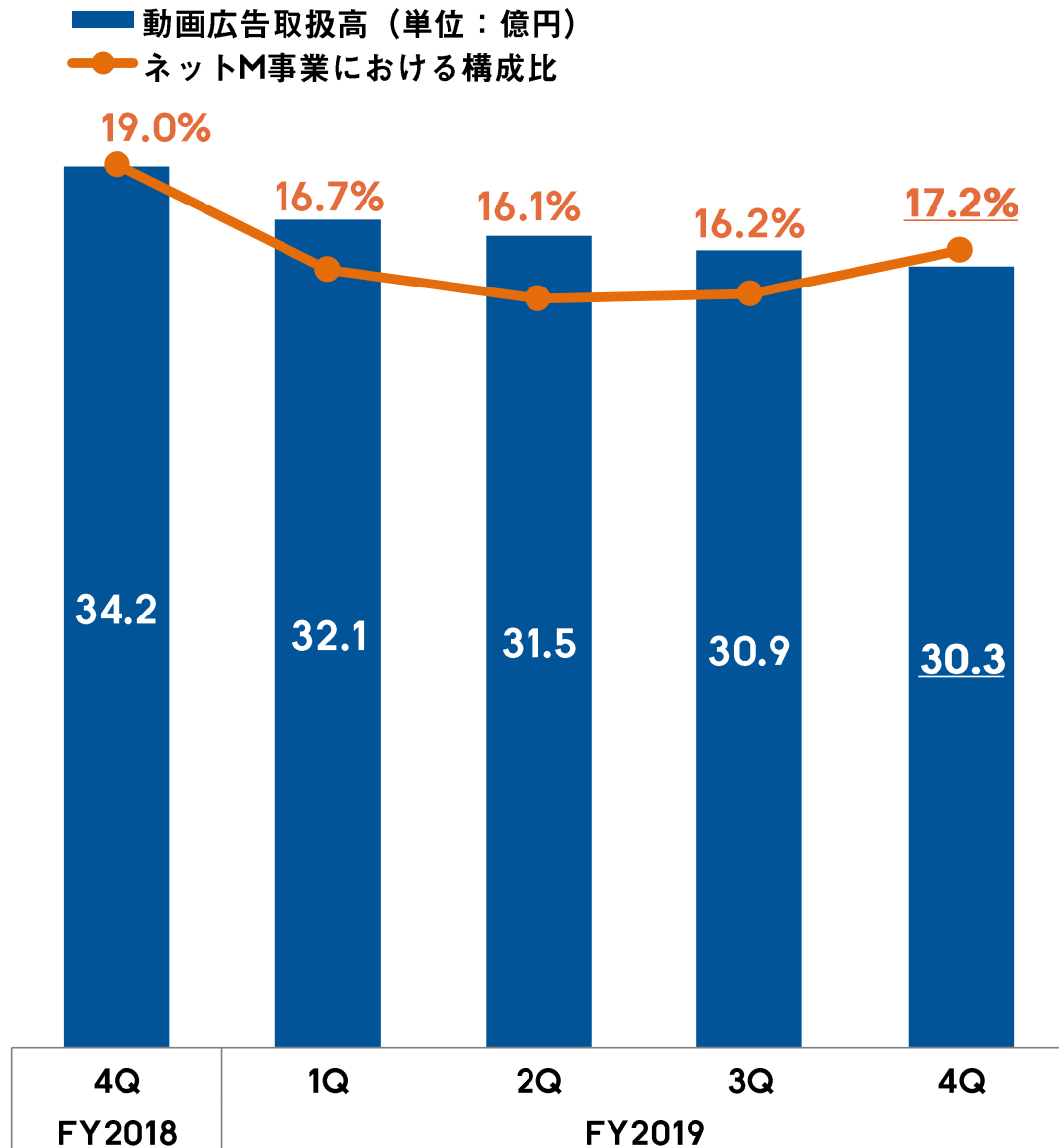
施策	進捗状況	業績への貢献時期
当社から電通グループへ ネットマーケティング事業の ナレッジ、テクノロジーの提供	デジタルマーケティングでの運用のナレッジ、 テクノロジー提供が継続	FY2019/2Q～
GANMA! を中心とした当社メディアや プロダクトの電通グループによる販売	3月より電通グループによる販売が開始、 販売額は堅調に推移	FY2019/2Q～
電通グループが取り扱う ネットマーケティング案件の 広告運用を当社より支援	当社グループ社員が電通グループへ出向し 広告運用を支援	FY2019/2Q～
両社が保有する データ資産の相互活用	両社の保有データの相互接続、DMPの活用、 データ分析等を準備中	業績への直接的な 影響はなし
両社の顧客基盤を活用した オンライン/オフライン広告の 統合マーケティング提案	受注案件が順調に増加	FY2020/2Q～

短期施策は計画通りに推移、統合提案の受注案件が増加



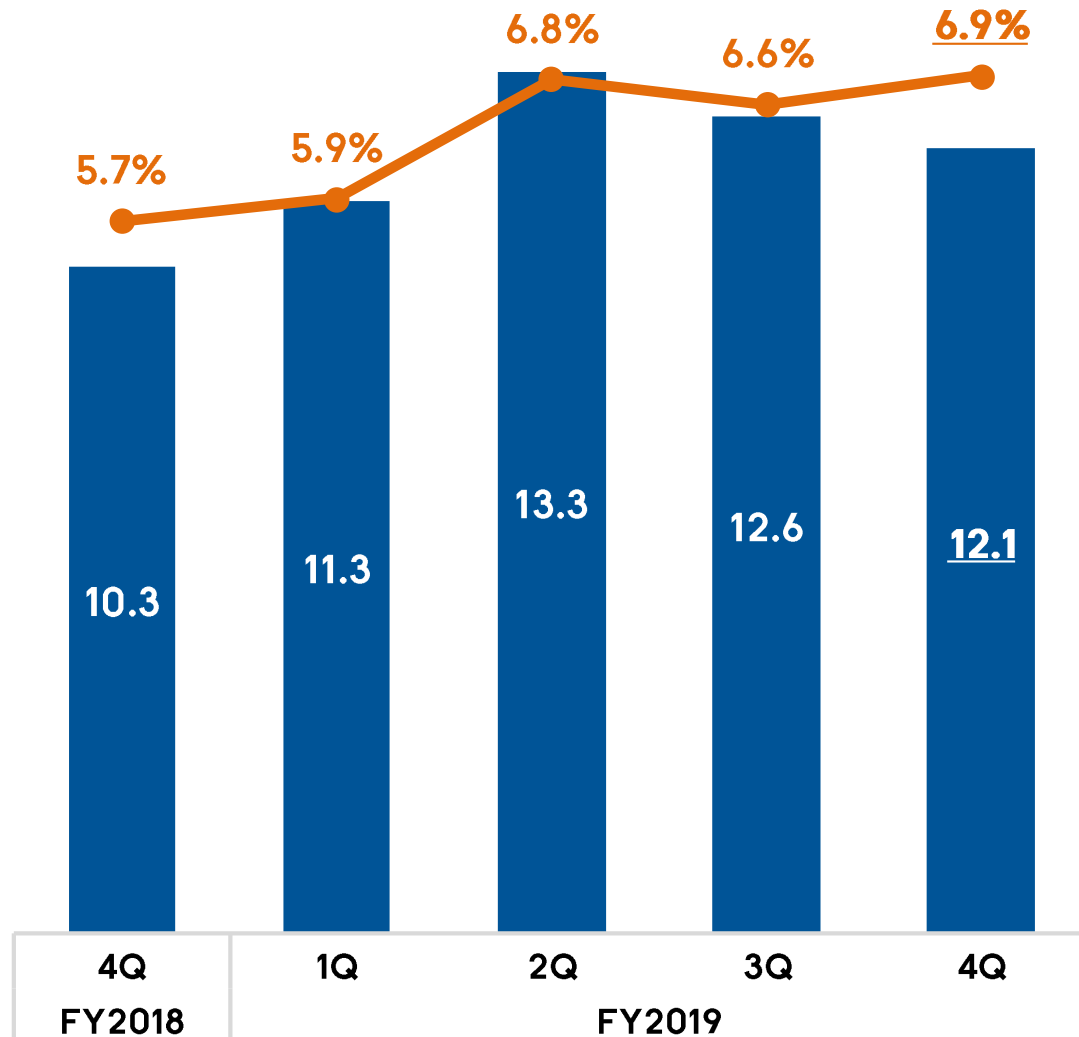
**Lion & Lion社において  
新たな事業計画を  
踏まえた構造改革を実施**

**経営体制の変更と  
拠点の選択と集中を実行し  
再成長を目指す**



取扱高、構成比率  
ともにほぼ横ばい

■ ブランド広告取扱高 (単位: 億円)  
● ネットM事業における構成比



QonQでは  
横ばいとなるも、  
前年同期比では  
**+18.1%の成長**

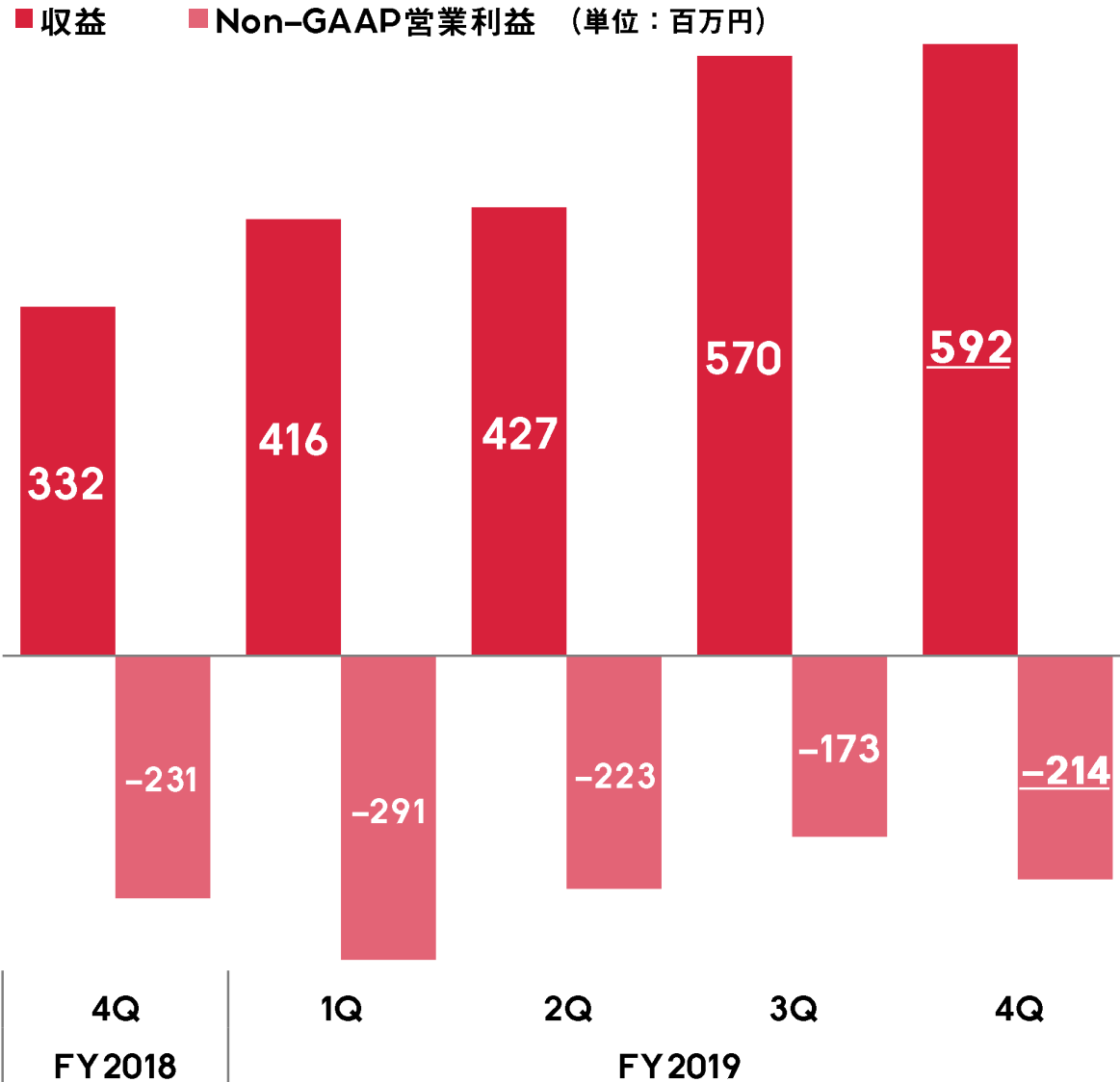
# 04

メディアコンテンツ事業



(単位：百万円)	2019年9月期 4 Q			2018/ 9期 4 Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	592	100.0%	+78.4%	332	100.0%
売上総利益	351	59.3%	+102.0%	174	52.3%
販売管理費	565	95.5%	+39.9%	404	121.8%
Non-GAAP 営業利益	-214	—	+16	-231	—

各事業の拡大が進み、大幅な増収  
コストコントロールも継続し、赤字幅縮小



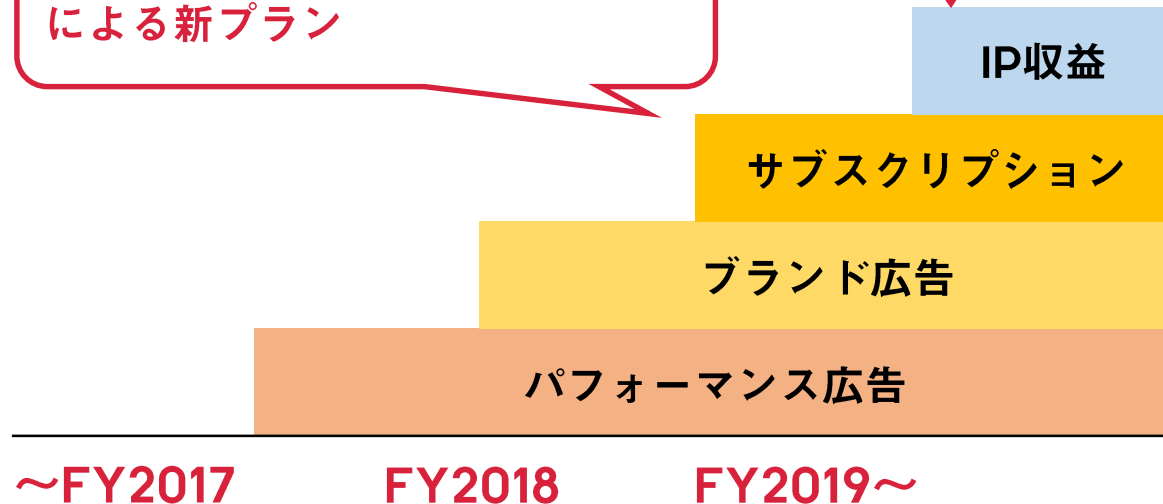
マンガコンテンツ  
事業を中心に  
トップラインが伸長

## GANMA!の収益モデル



- ・コンテンツのマルチメディア展開
- ・クラウドファンディング 等

アプリのメジャーアップデートによる新プラン



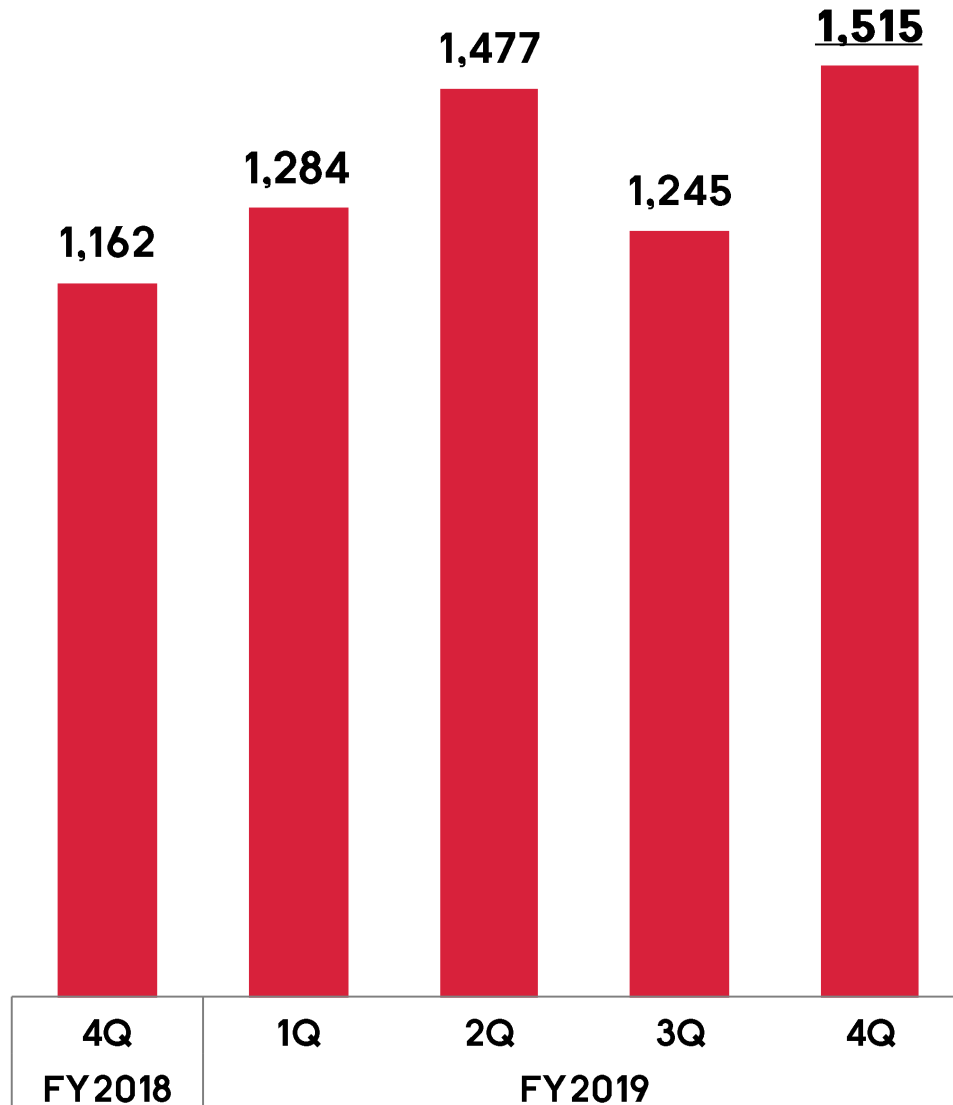
累計DL数：1,306万件

月間PV数：26.1億PV

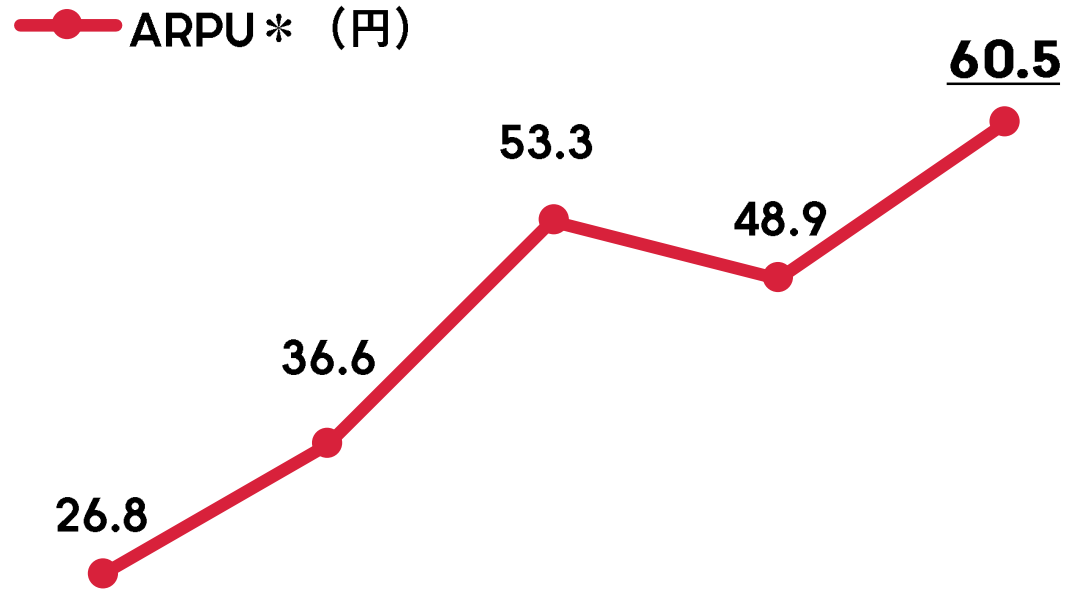
(2019年9月末時点)

パフォーマンス広告に加え、**ブランド広告**や**サブスクリプション**収益での積み上げを目指す

※2016/1Qの収益を100として指数化



ブランド広告と  
サブスクリプションによる  
収益がけん引し  
トップラインが成長

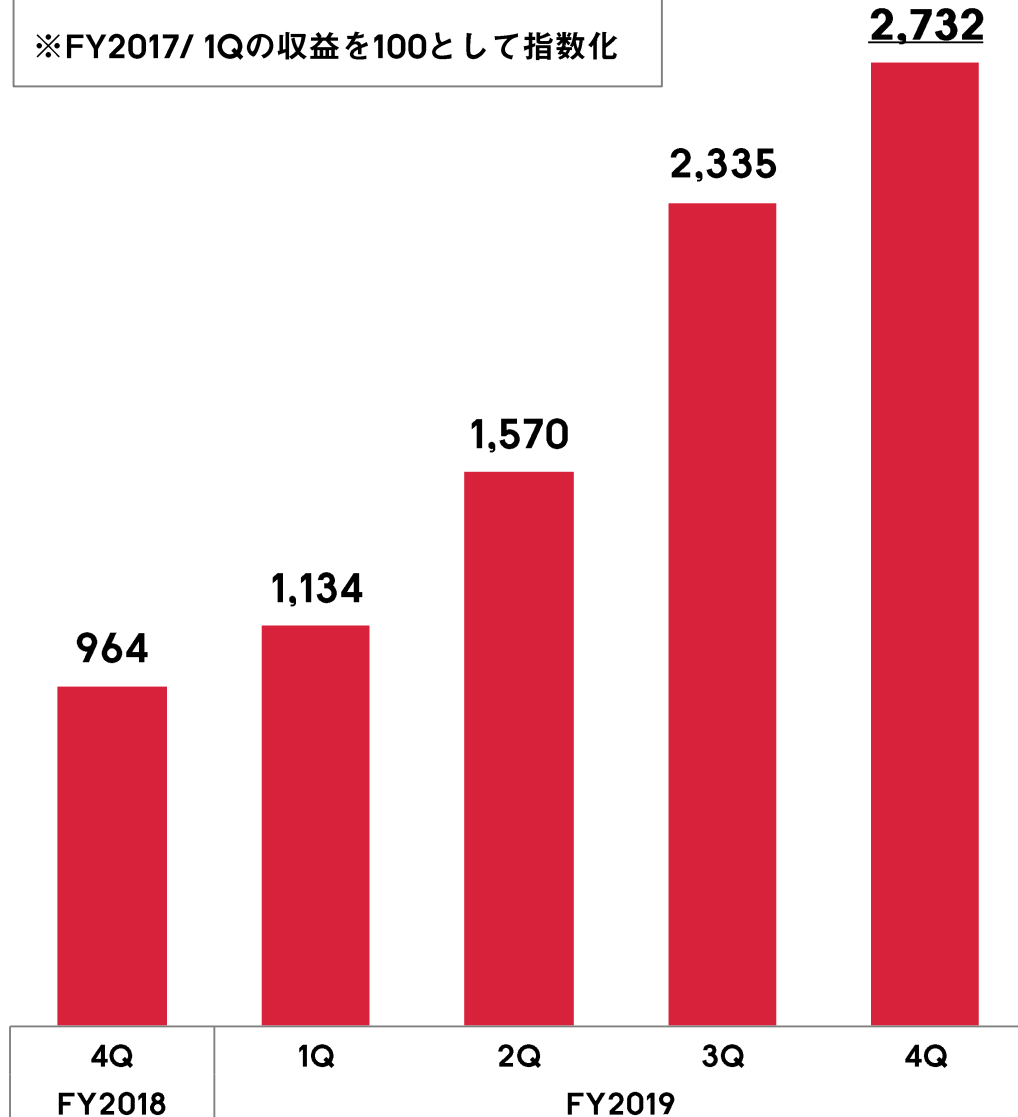


サブスクリプション  
開始による収益増により  
前年同月比で大幅に増加

9月	12月	3月	6月	9月
2018		2019		

\* ARPUの定義：マンガコンテンツ事業の収益（広告、課金、IP収益など）/MAU

※FY2017/ 1Qの収益を100として指数化



2018年12月のアプリ  
アップデート以降、  
順調な推移が継続

課金者数の増加及び  
単価の向上により  
サブスクリプション  
収益が増加

\*前年度まで「課金収益」として開示



2018年12月に制作した  
「リセット・ゲーム」の  
特別実写化プロジェクトが  
アジア太平洋地域最大級の  
広告賞「**Spikes Asia 2019**」  
にて**BRONZE**を受賞



**Spikes Asia 2019**

BRAND EXPERIENCE & ACTIVATION  
BRONZE WINNER



**GANMA!の人気作品**  
**「腸よ鼻よ」が**  
**「次にくるマンガ大賞2019\*」**  
**Webマンガ部門で**  
**第3位を受賞**

**書籍化した単行本第1巻も**  
**発売直後に重版が決定**

\*ダ・ヴィンチとniconicoが創設した“ユーザ参加型”のマンガ賞



# 05

中期経営方針のアップデート

中期テーマ

ドメインの拡張

ネットマーケティング事業

－ 運用型広告

（パフォーマンス領域）

メディアコンテンツ事業



中期経営方針による  
アップデート

既存ドメインの拡張

ネットマーケティング事業

- 運用型広告  
(パフォーマンス領域)

デジタルマーケティング事業

- 運用型広告  
(パフォーマンス領域)  
- データ・ソリューション  
- ブランド広告

広告代理から  
データ・ソリューション領域

パフォーマンス広告市場から  
ブランド広告市場

オンラインからオンオフ統合

メディアコンテンツ事業



メディアプラットフォーム事業



マンガアプリから  
コンテンツプラットフォーム

単一メディアから  
メディアコングロマリット

各社単独運営から  
グロスプラットフォーム

新たな事業セグメント

新たな事業セグメントへの拡張を検討

新規ドメインへの拡張

旧セグメント名称新セグメント名称

ネット  
マーケティング事業



デジタル  
マーケティング事業

メディア  
コンテンツ事業



メディア  
プラットフォーム事業

※セグメント内の内訳に変更はなく、名称のみの変更

ドメインの拡張に伴いセグメント名称を変更

	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
中期経営方針 (FY2019)	更新（本決算）				
中期経営方針 (FY2020)		更新			
中期経営方針 (FY2021)			更新		

中期経営方針はローリング方式により単年度ごとに見直しを行う

## 基本方針

新市場の開拓によるオーガニック成長  
＋  
電通との協業の促進を目指す

## デジタルマーケティング事業

- 運用型広告  
（パフォーマンス領域）
- データ・ソリューション
- ブランド広告

広告代理から  
データ・ソリューション領域  
への拡張

パフォーマンス広告市場から  
ブランド広告市場への拡張

オンラインから  
オン・オフ統合への拡張

オン・オフでの  
統合デジタル・トランスフォーメーションの推進（以下、DX）



SEPTENI ×

dentsu

デジタル広告運用力

マス広告、販売促進  
アナリティクス  
CX、EC、CRM運用

- ・ デジタル領域での両社の専門性、強みを活用
- ・ オン・オフ統合でのDX推進に向け今後更に増員

電通グループとの協業の促進により業界全体のDXを推進する



基本方針

GANMA!への先行投資はピークを超え、  
各新規事業への投資が収益に貢献しつつある中、  
今後は各社の強みを相互に持ち寄りグループALLとしての成長力を磨く

メディアプラットフォーム事業

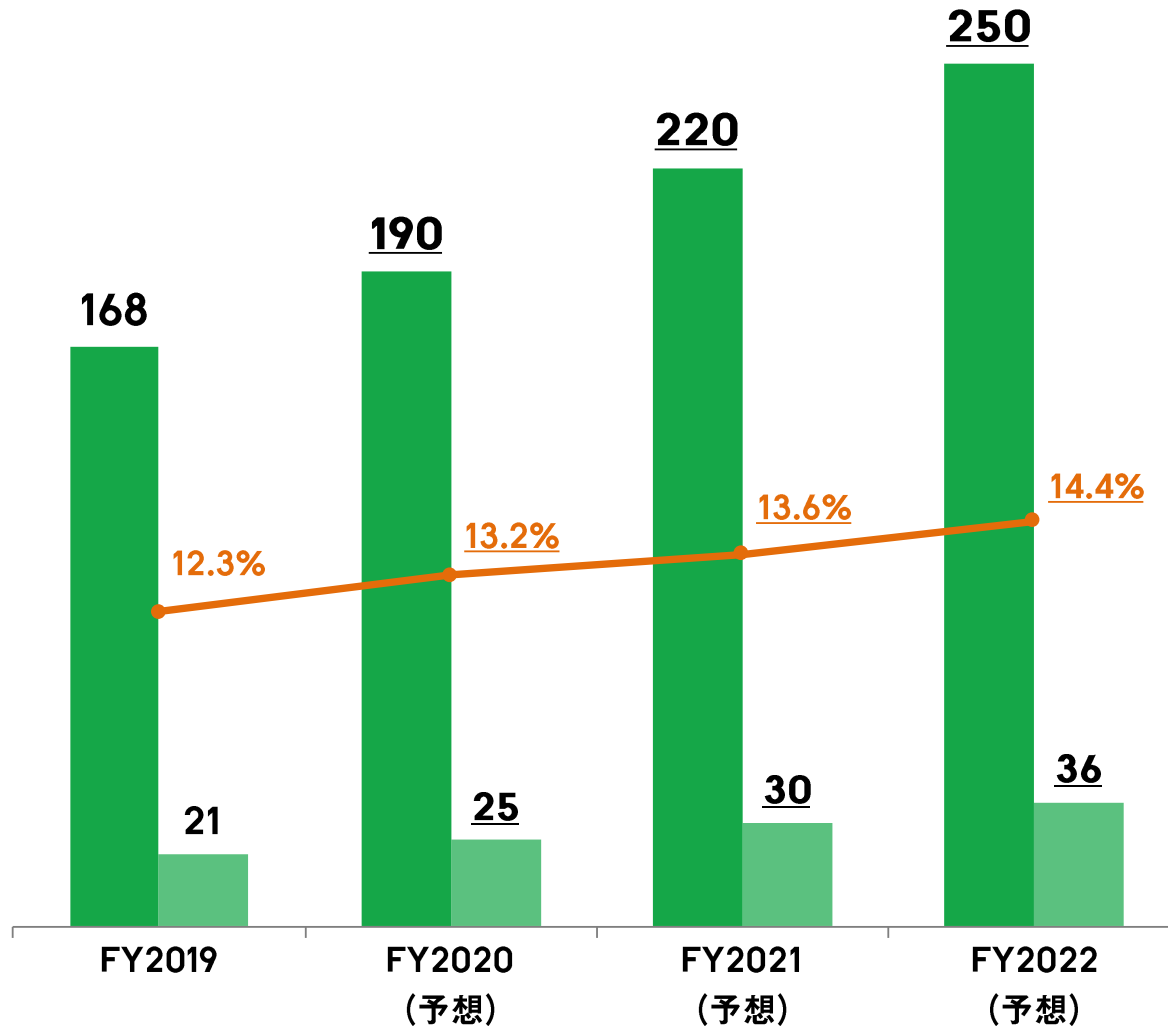


マンガアプリから  
コンテンツプラットフォームへの拡張

単一メディアから  
メディアコングロマリットへの拡張

各社単独運営から  
グロースプラットフォームへの拡張

（単位：億円） ■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 — 営業利益率（対収益）



新たな事業セグメントへの  
拡張を行いつつ、  
収益拡大による増益での  
成長を目指す

06

2020/9期 業績予想

(単位：百万円)	2019年9月期 実績	2020年9月期 予想	予想成長率 (前期比)
収 益	16,796	19,000	+13.1%
Non-GAAP営業利益	2,065	2,500	+21.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	-547	1,400	-
【参考】売上高	76,501	84,000	+9.8%

**新市場の開拓及び電通協業の促進と  
各新規事業の成長により増収増益を見込む**

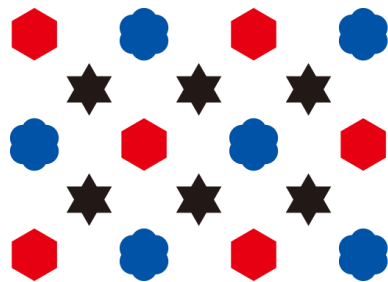
(単位：百万円)

デジタル マーケティング
メディア プラットフォーム
消去・全社
連結

収 益		
2019年9月期 実績	2020年9月期 予想	予想成長率 (前期比)
15,079	16,500	+9.4%
2,005	2,900	+44.6%
-289	-400	-
16,796	19,000	+13.1%

Non-GAAP営業利益		
2019年9月期 実績	2020年9月期 予想	予想成長率 (前期比)
4,775	5,300	+11.0%
-901	-850	-
-1,809	-1,950	-
2,065	2,500	+21.1%

# 本日はありがとうございました。



# SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス 経営企画部IR課

[www.septeni-holdings.co.jp](http://www.septeni-holdings.co.jp)

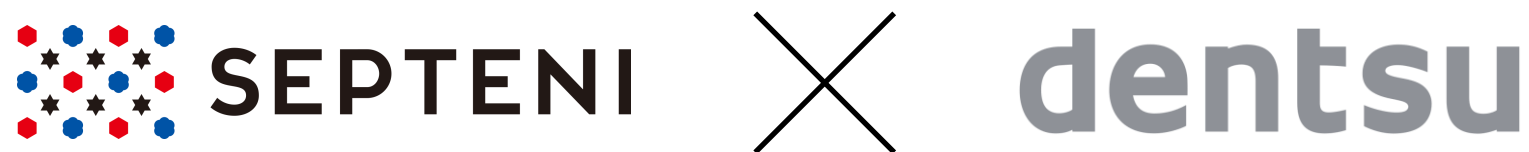
TEL : 03-6857-7258 E-mail : [ir@septeni-holdings.co.jp](mailto:ir@septeni-holdings.co.jp)

※各種数値の過去推移につきましては、次ページ以降の補足資料に記載しておりますので、併せてご参照ください。

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2019年10月29日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。  
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

07

補足資料



両社（セプターニグループ及び電通グループ）の連携により、

多様な才能を持った人材が集う働きがいあふれる組織環境を基盤として

顧客に対して最も優れたソリューションを提供することで業界の発展を牽引する、

国内最大のデジタルマーケティングパートナーになることを目指す



両社における専門性の違い・強みを活かし、短期・中期での施策を通じたシナジー創出により顧客に提供する付加価値を向上させる



SEPTENI

短期・中期的施策群

dentsu

当社から電通グループへ  
ネットマーケティング事業の  
ナレッジ、テクノロジーの提供

GANMA! を中心とした  
当社メディアやプロダクトの  
電通グループによる販売

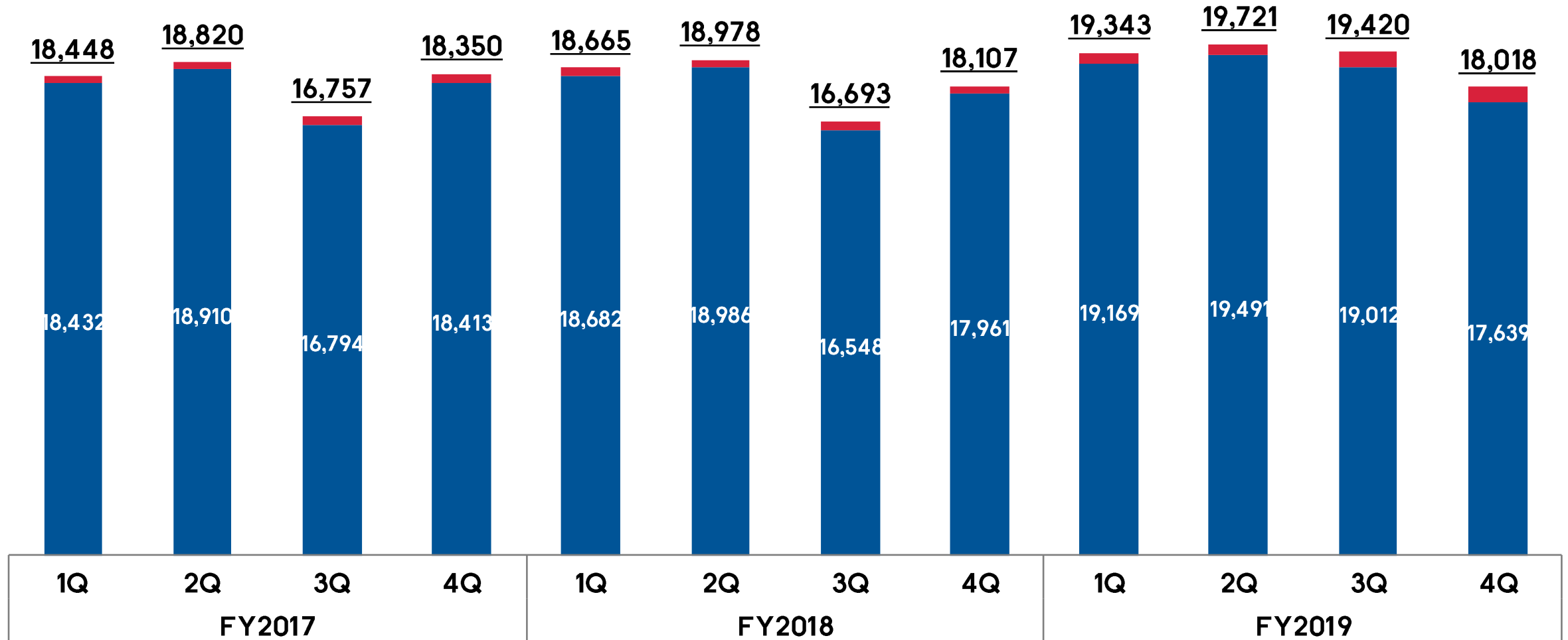
電通グループが取り扱う  
ネットマーケティング案件の  
広告運用を当社より支援

両社が保有する  
データ資産の相互活用

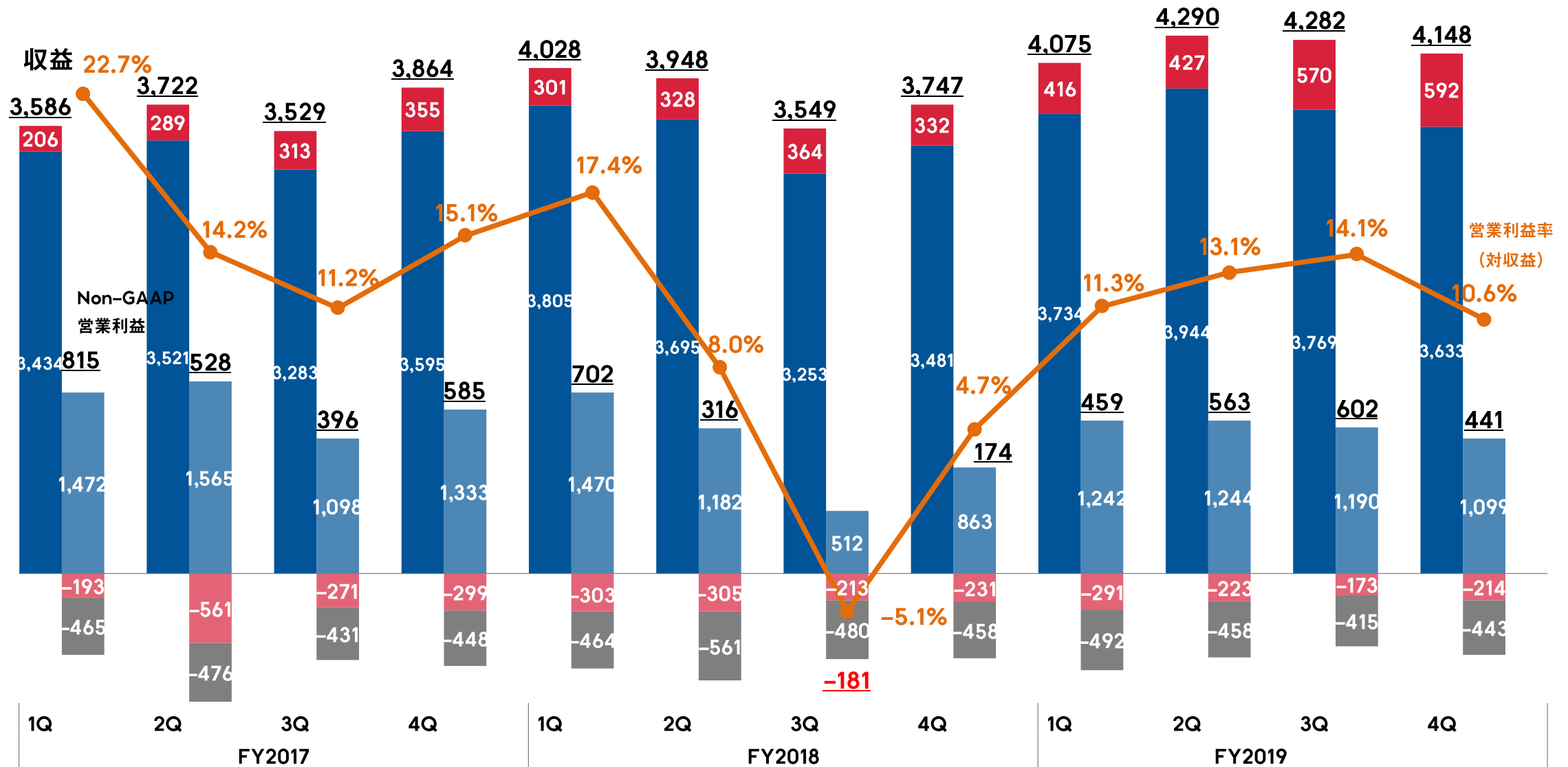
両社の顧客基盤を活用した  
オンライン/オフライン広告の  
統合マーケティング提案

■ ネットマーケティング事業

■ メディアコンテンツ事業（単位：百万円）

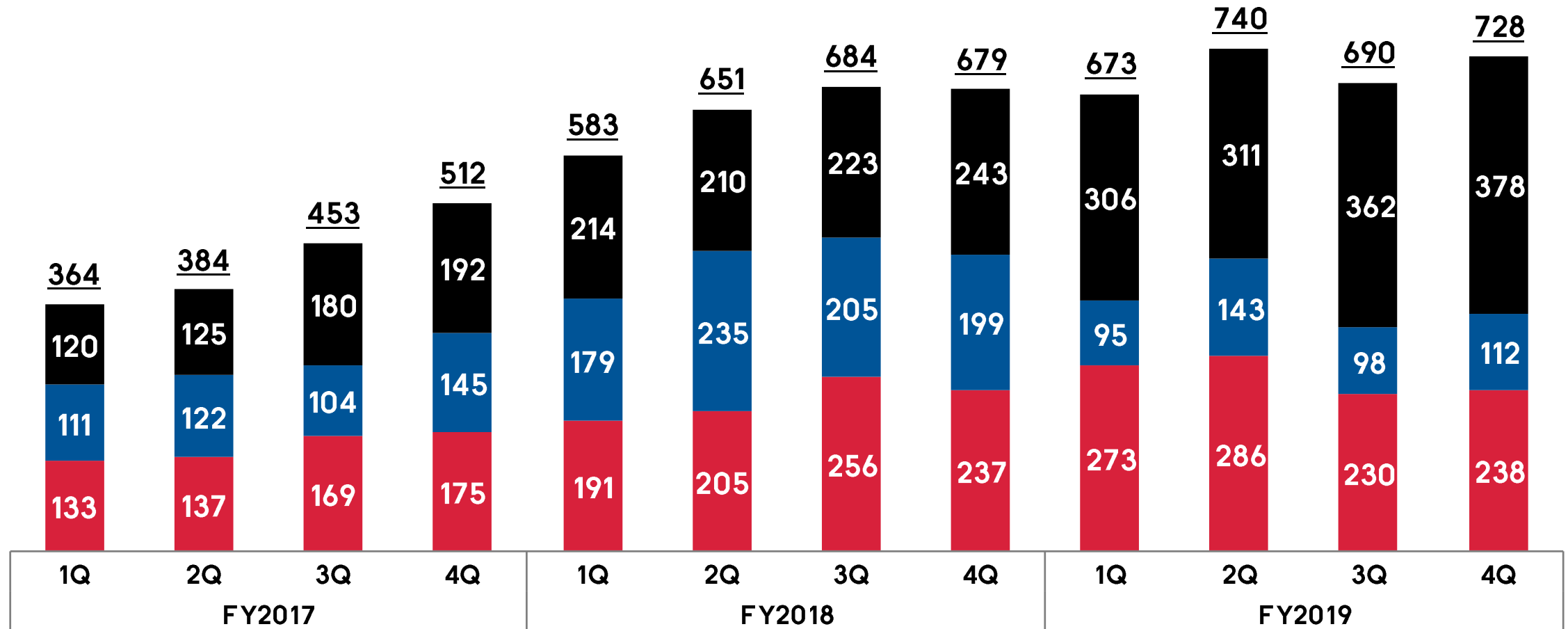


※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない  
 ※メディアコンテンツ事業は売上高と収益が等しいため、詳細数値は後述の「メディアコンテンツ事業 四半期推移」を参照

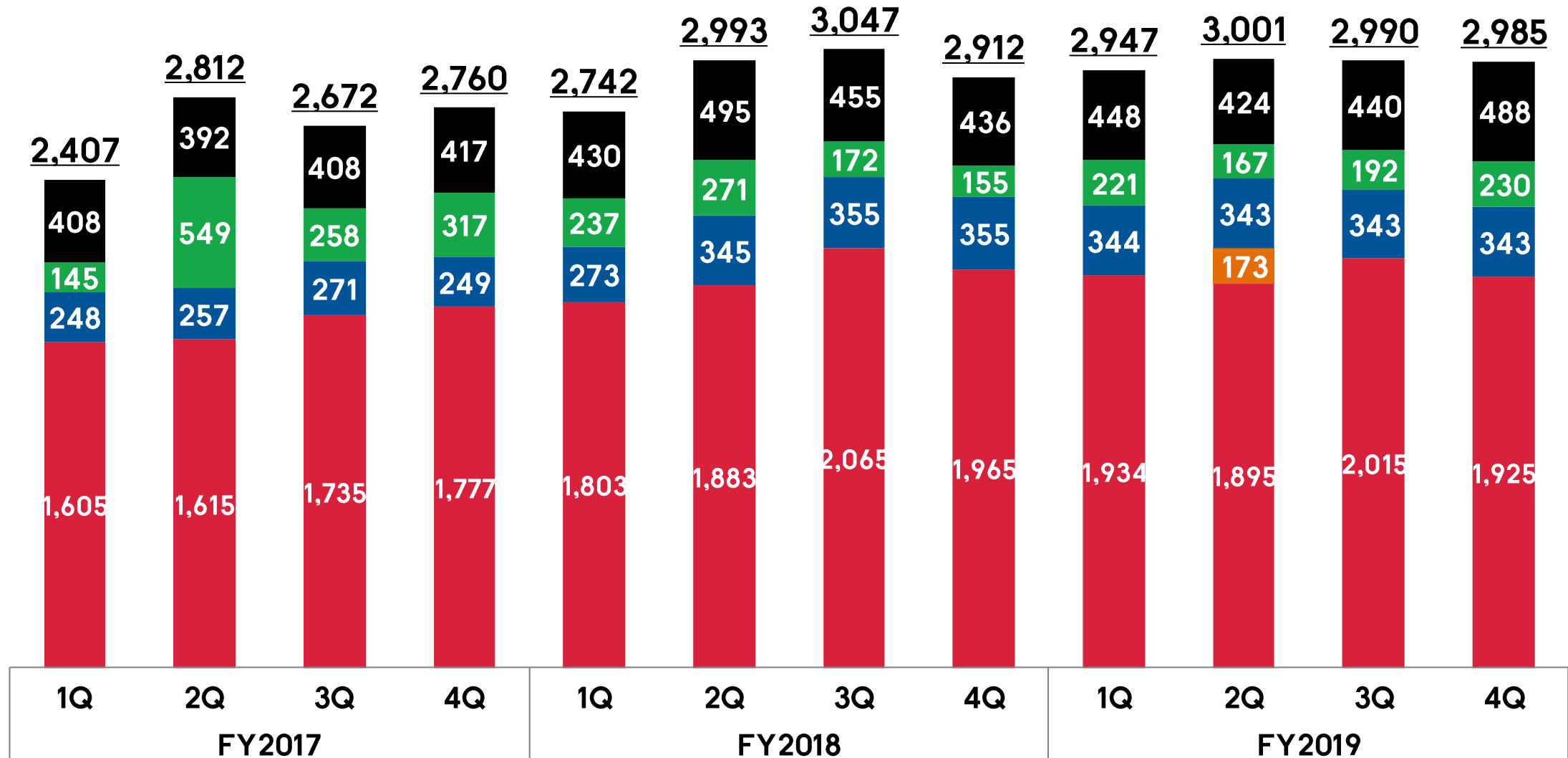


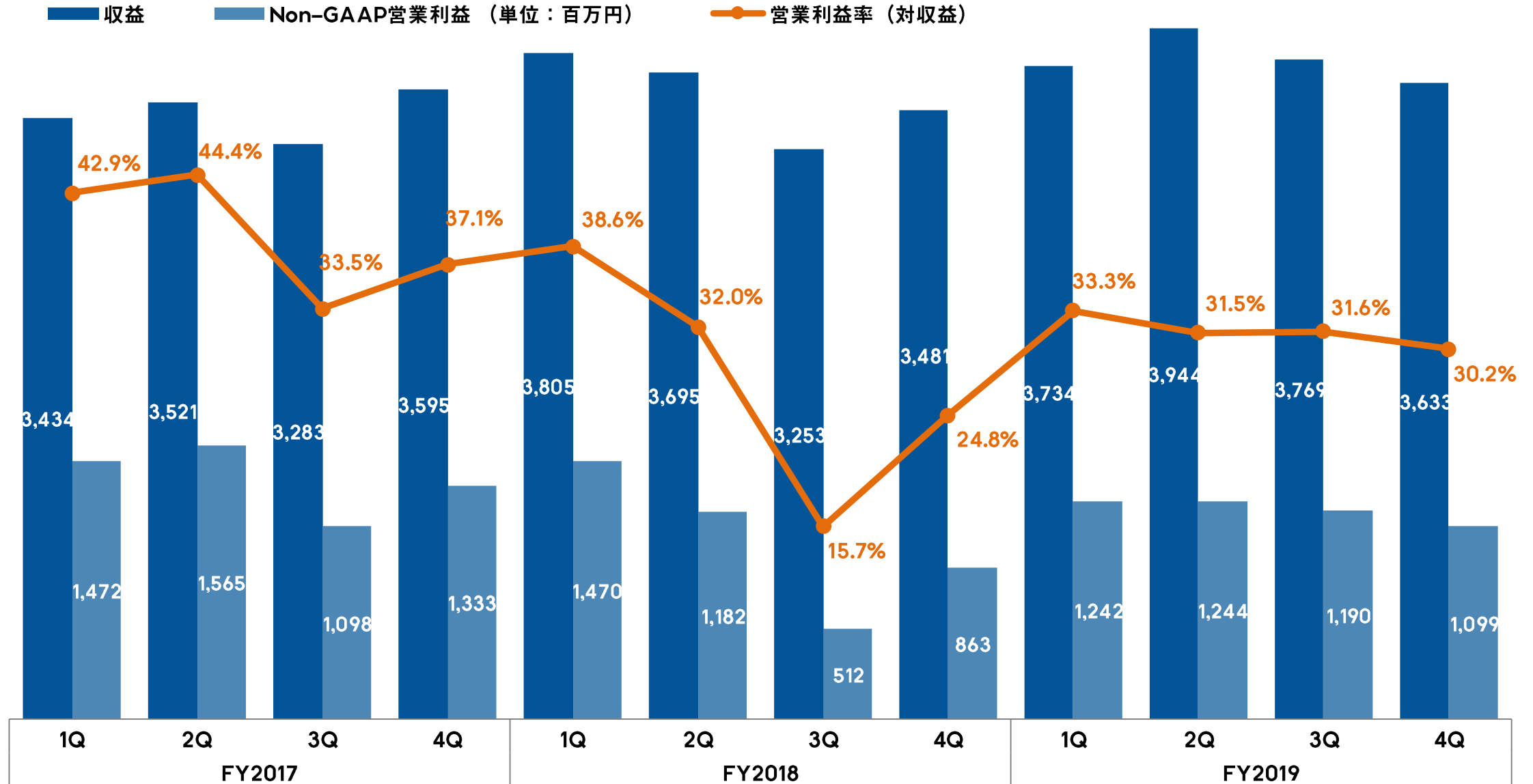
(単位：百万円)	FY2017				FY2018				FY2019				QonQ	YonY
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
売上原価合計	364	384	453	512	583	651	684	679	673	740	690	728	+5.6%	+7.2%
人件費	133	137	169	175	191	205	256	237	273	286	230	238	+3.3%	+0.4%
外注費	111	122	104	145	179	235	205	199	95	143	98	112	+15.2%	-43.6%
その他	120	125	180	192	214	210	223	243	306	311	362	378	+4.3%	+55.3%
販管費合計	2,407	2,812	2,672	2,760	2,742	2,993	3,047	2,912	2,947	3,001	2,990	2,985	-0.2%	+2.5%
人件費	1,605	1,615	1,735	1,777	1,803	1,883	2,065	1,965	1,934	1,895	2,015	1,925	-4.5%	-2.1%
追加決算賞与	—	—	—	—	—	—	—	—	—	173	—	—	—	—
賃借料	248	257	271	249	273	345	355	355	344	343	343	343	-0.1%	-3.5%
販促費・広告費	145	549	258	317	237	271	172	155	221	167	192	230	+19.7%	+48.7%
その他	408	392	408	417	430	495	455	436	448	424	440	488	+10.9%	+11.7%

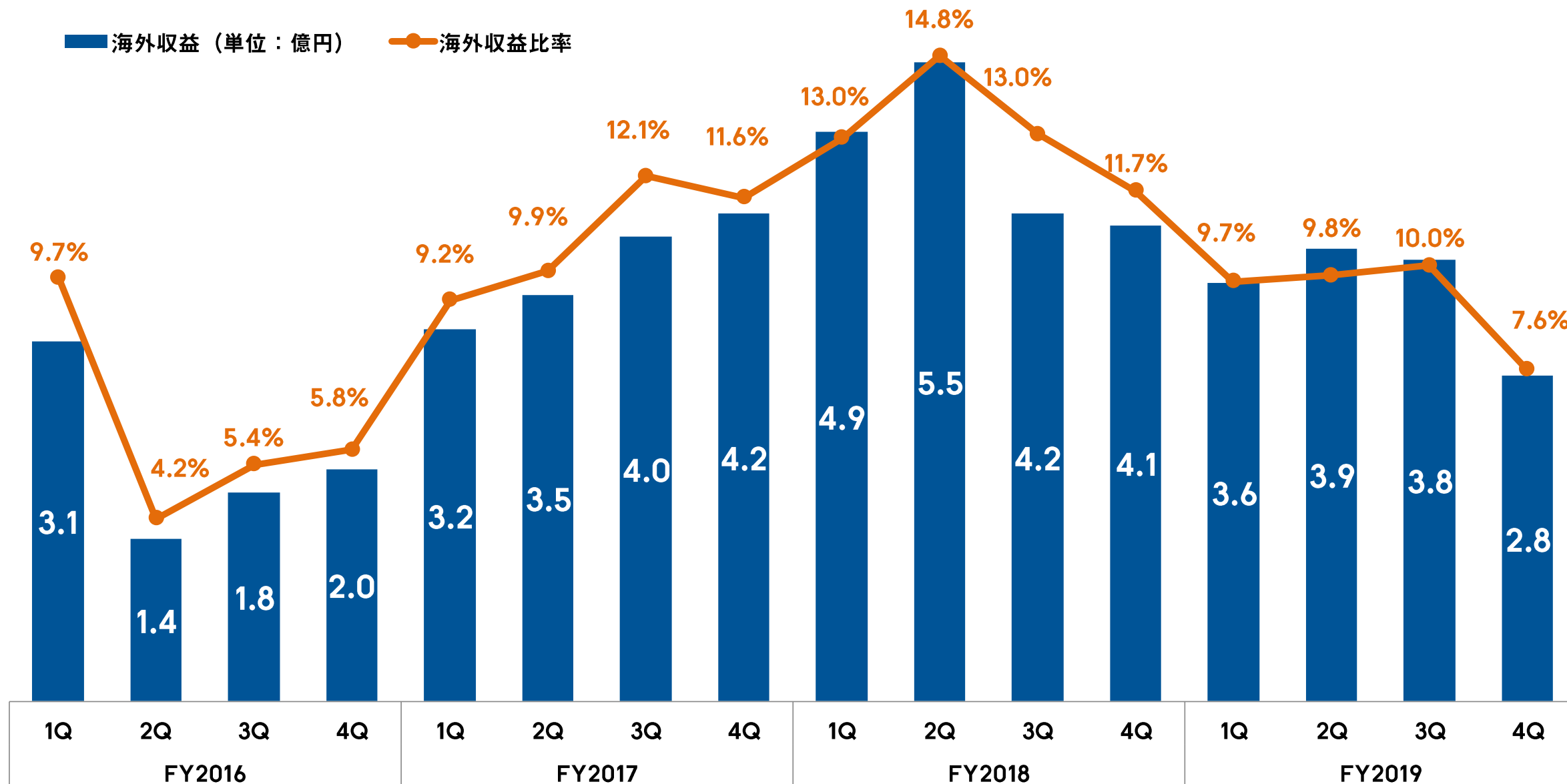
■ 人件費 ■ 外注費 ■ その他 (単位：百万円)



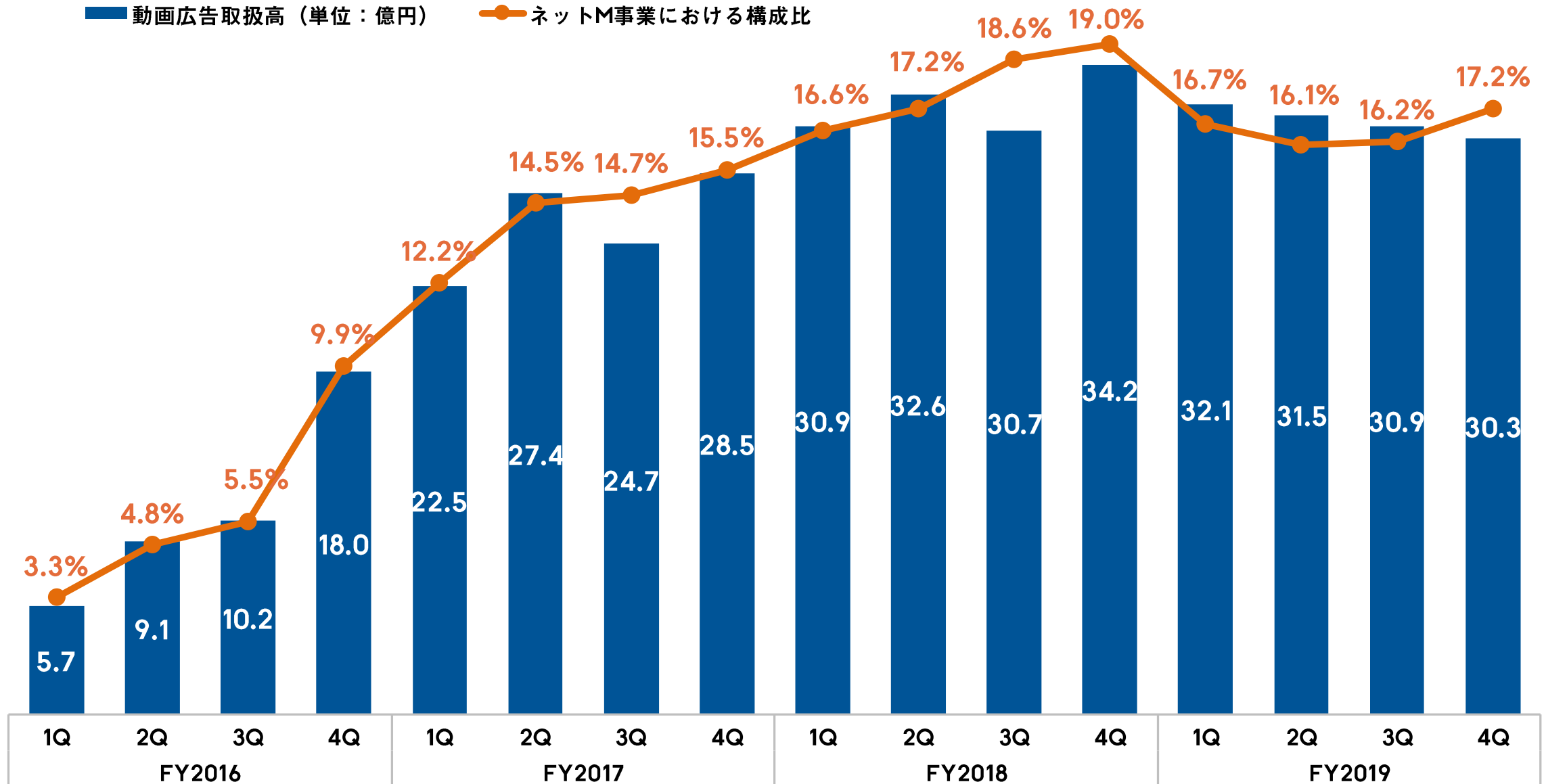
■ 人件費 ■ 追加決算賞与 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ その他（単位：百万円）

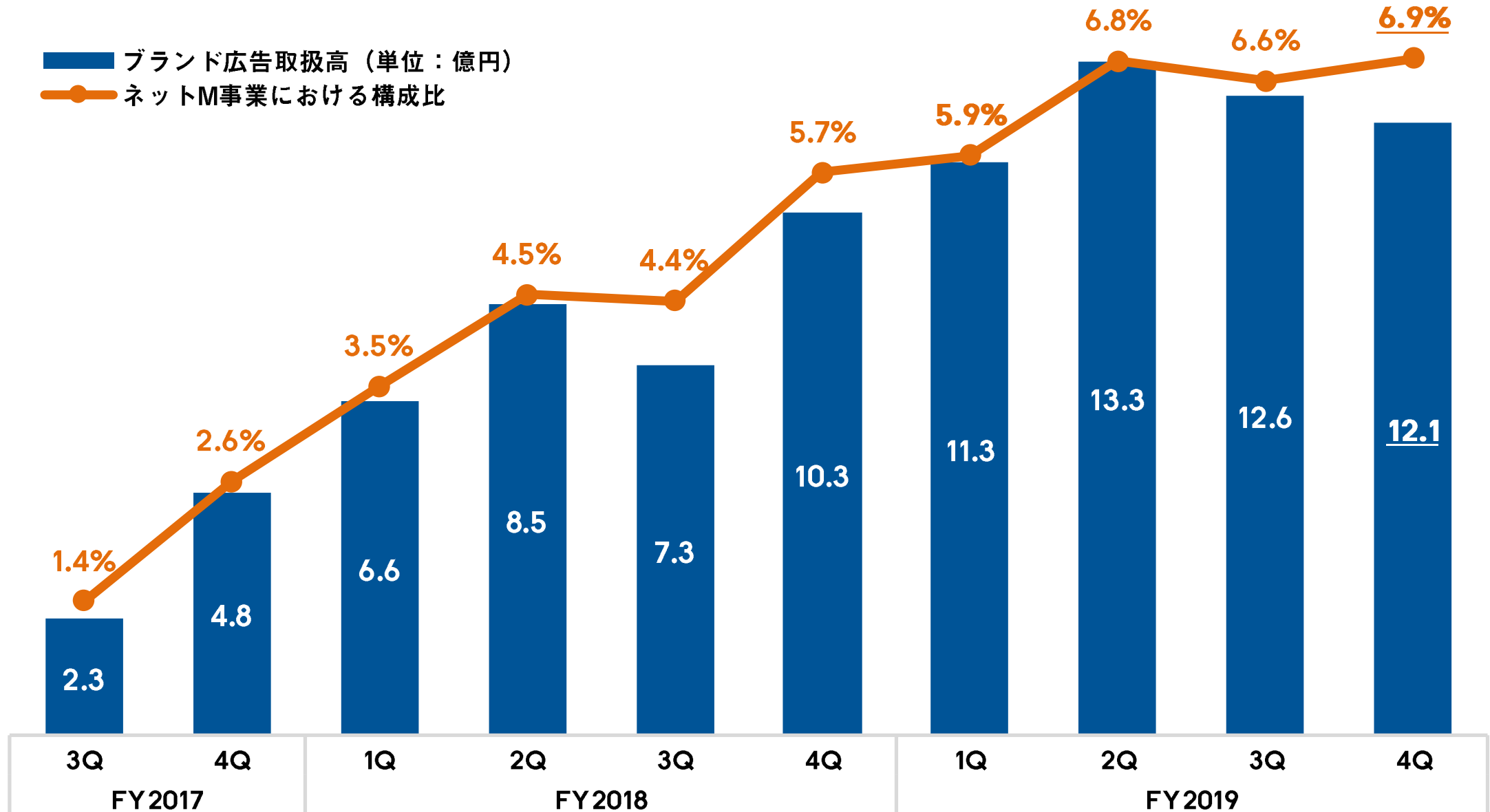


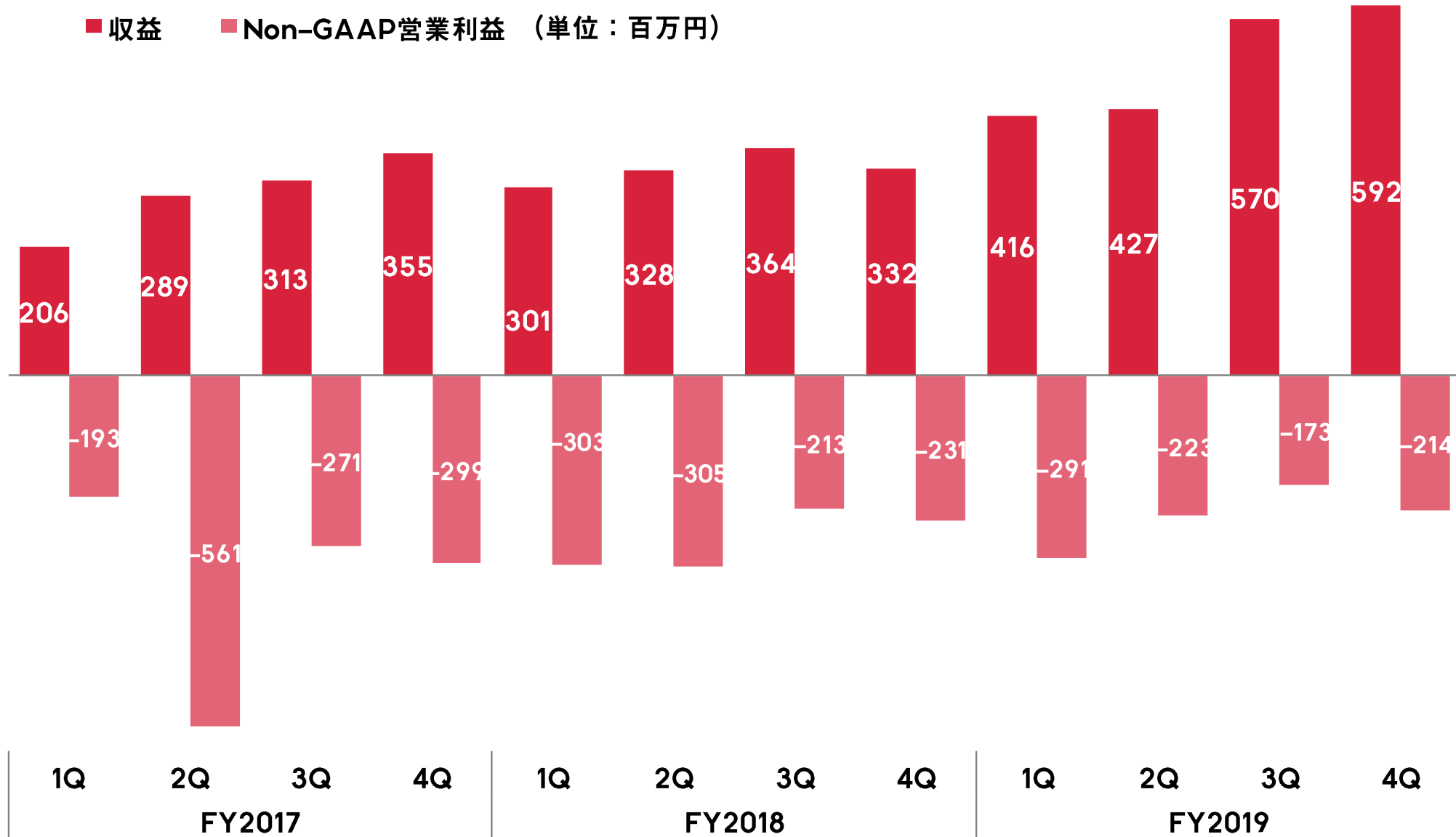


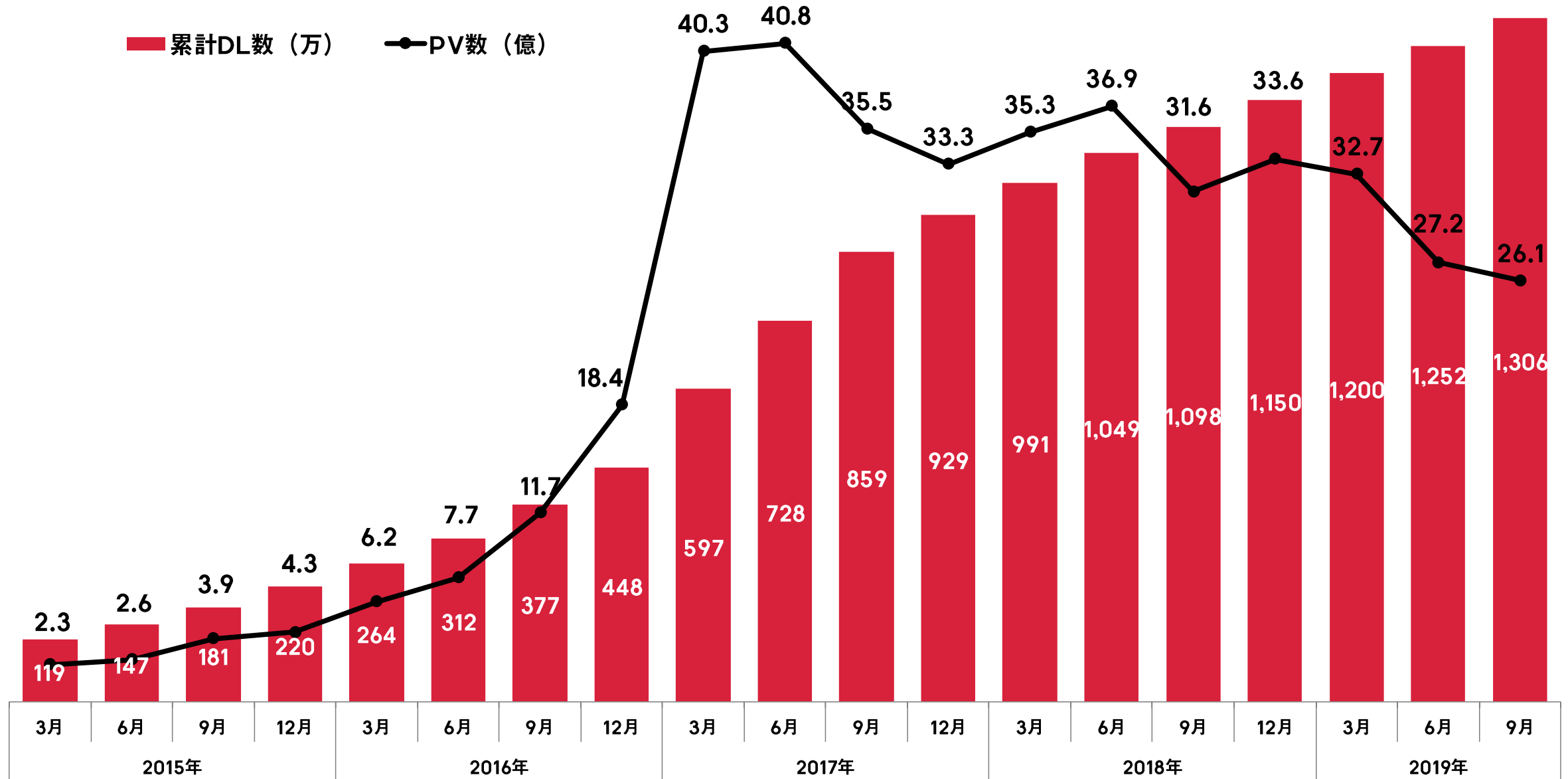




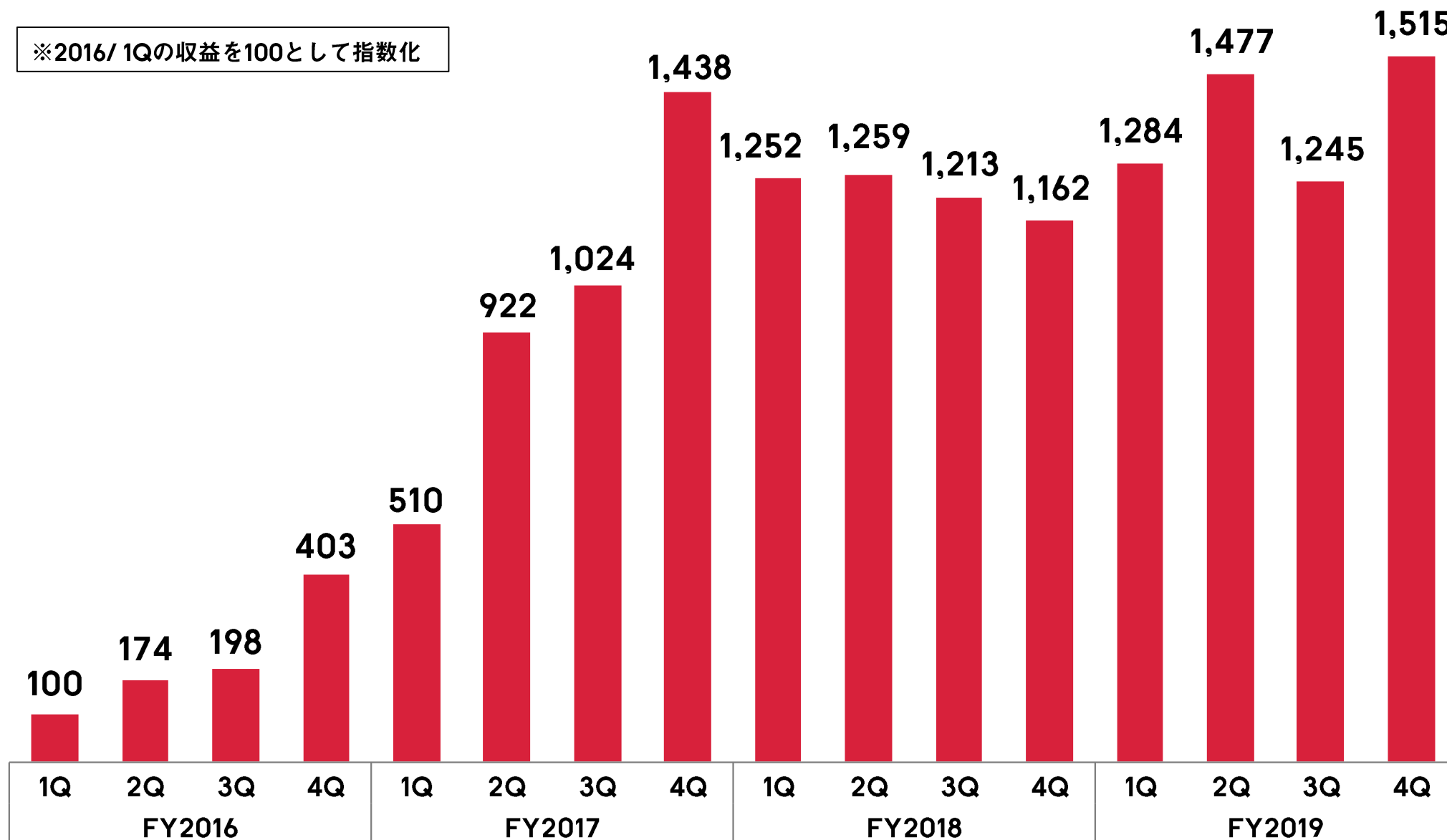


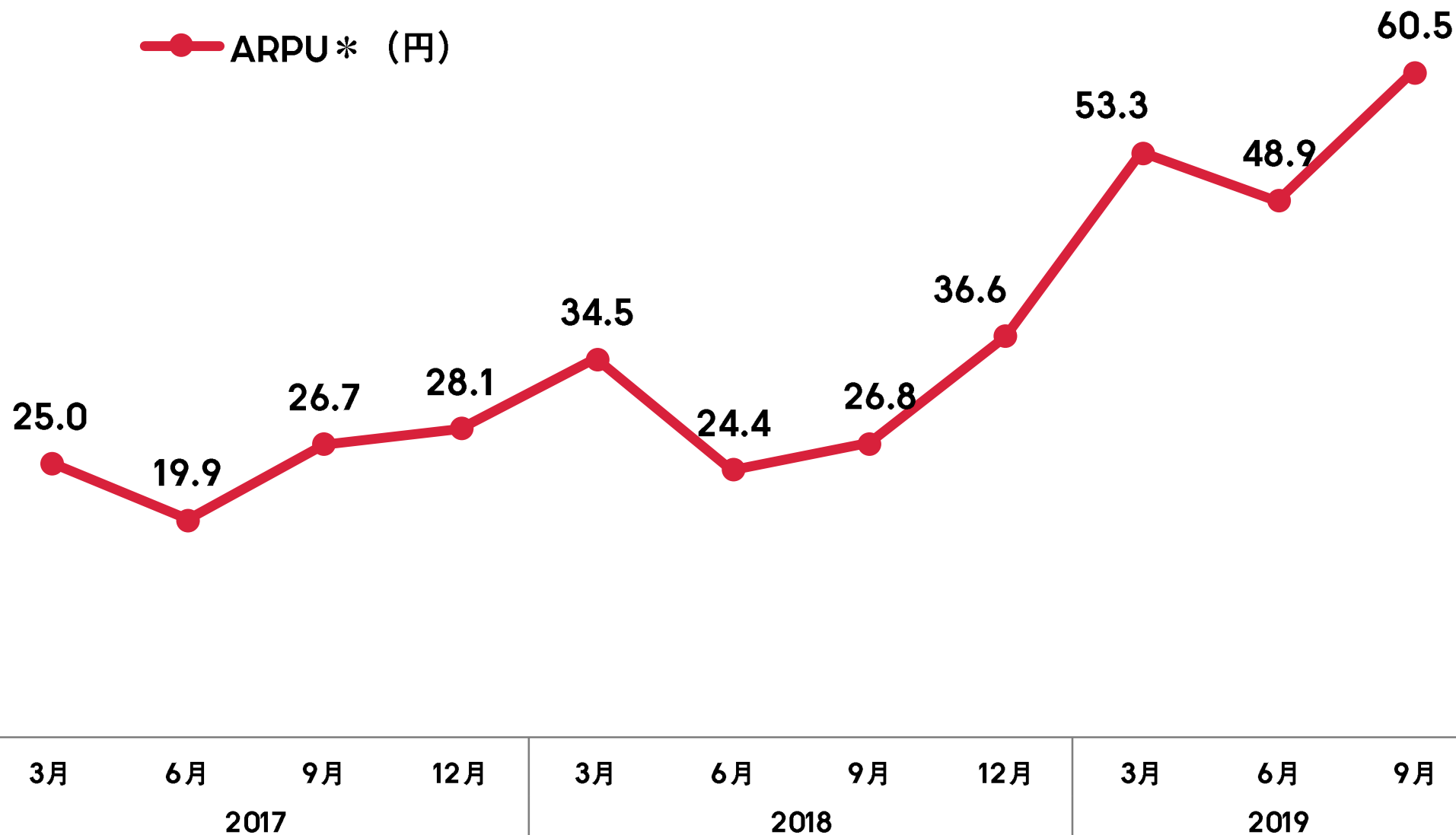






※2016/1Qの収益を100として指数化

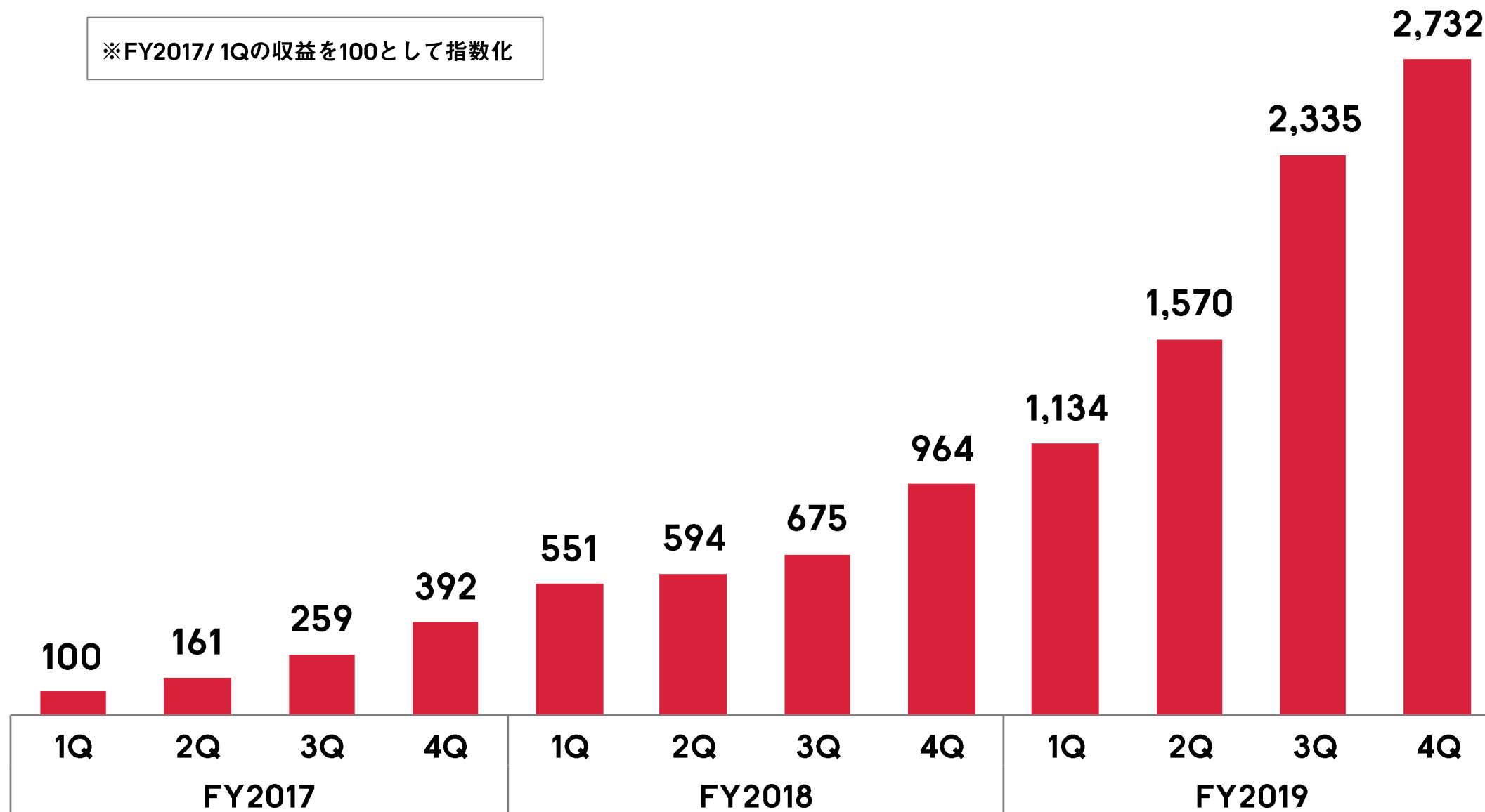




\* ARPUの定義：マンガコンテンツ事業の収益（広告、課金、IP収益など）/MAU

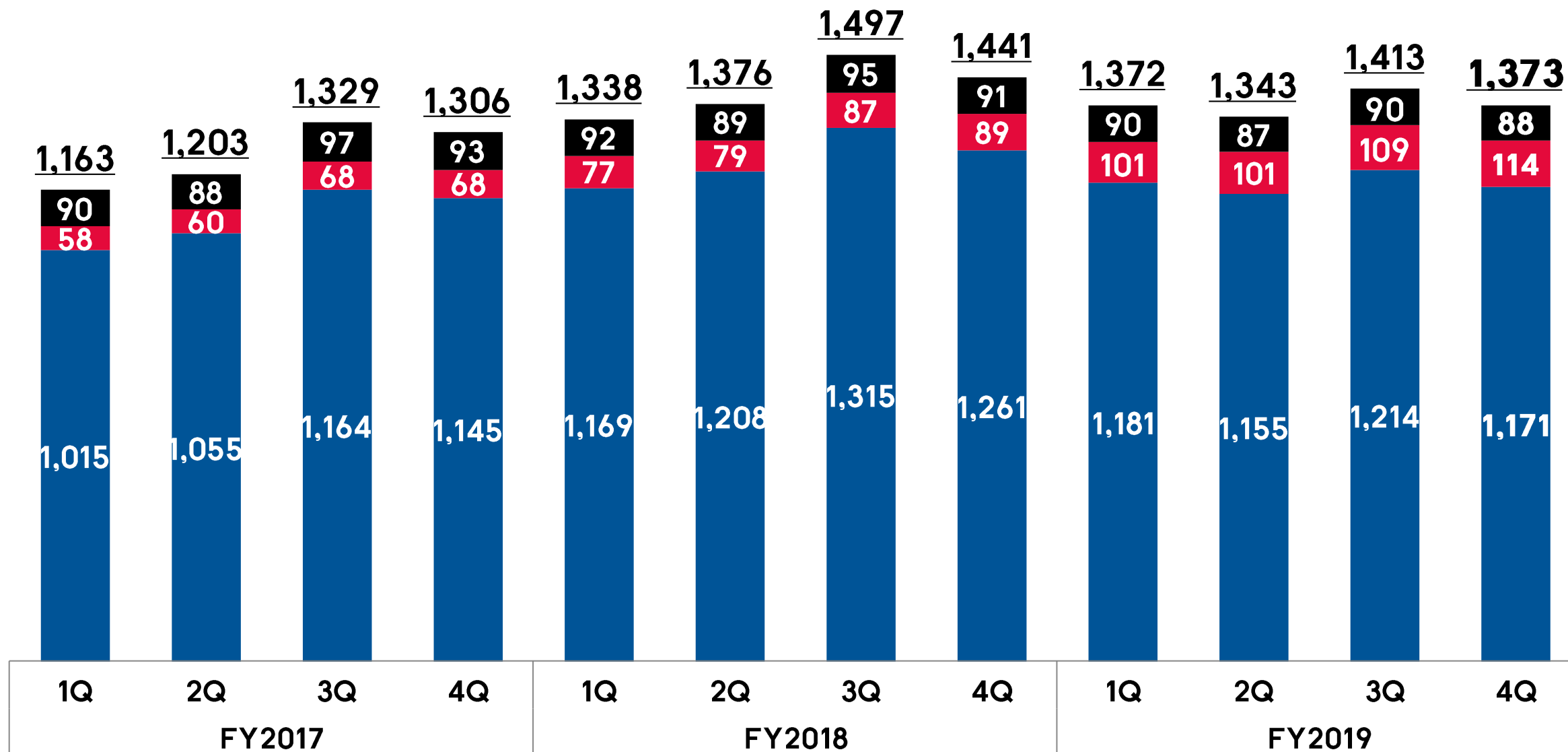


※FY2017/1Qの収益を100として指数化



■ ネットマーケティング事業 ■ メディアコンテンツ事業 ■ 持株会社 (単位:名)

※9月末までにLion & Lion社の構造改革により47名が退職





会 社 名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代 表 者	代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
所 在 地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
証 券 コ ー ド	4293 (JASDAQ)
事 業 内 容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設 立 日	1990年10月29日
資 本 金	2,125百万円
発 行 済 株 式 数	138,906,500株 (うち自己株式10,724,240株)※
連 結 従 業 員 数	1,373名 (従業員) うち1,147名 (正社員)

※役員報酬BIP (Board Incentive Plan) 信託が保有する当社株式1,739,200株は含んでおりません。

**純粋持株会社**
**セプターニ・ホールディングス**
**ネットマーケティング事業**

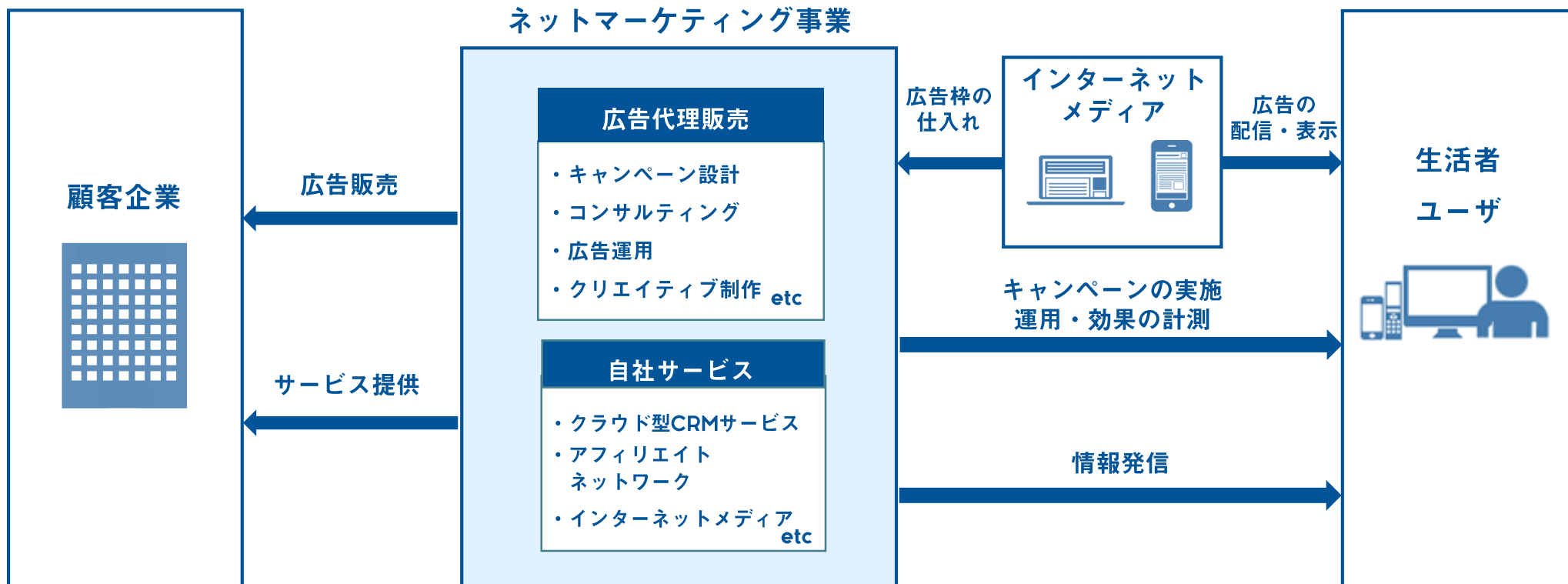
セプターニ	インターネット広告事業、インターネット上のプロモーション全般支援	Septeni Japan	日本におけるインターネット広告事業
MANGO	SEMオペレーション	ハイスコア	スマートフォンマーケティング支援事業
セプターニ・オリジナル	ウェブサービスの企画・開発	Septeni Ad Creative	インターネット広告クリエイティブの企画・制作
セプターニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク	トライコーン	CRMサービス事業
Septeni Asia Pacific	アジア太平洋地域におけるインターネット広告事業	Septeni America	北米地域におけるインターネット 広告事業
七域広告	中国におけるインターネット広告事業	SEPTENI TECHNOLOGY	ウェブサービスの開発等
JNJ INTERACTIVE	韓国におけるインターネット広告事業	Lion Digital Global	東南アジア地域におけるインターネット広告事業

**メディアコンテンツ事業**

コミックスマート	マンガコンテンツ事業	gooddo	社会貢献プラットフォーム事業
ビビビット	採用プラットフォーム事業	Pharmarket	医療プラットフォーム事業
TowaStela	育児プラットフォーム事業	デライトチューブ	インターネットメディアの企画、制作、運営
HEDGEHOG PRODUCTS	アプリ・広告プロダクト開発		

**新規事業開発**
**セプターニ・ベンチャーズ**

インターネットを活用した包括的な**マーケティング支援サービス**を企業向けに展開。  
スマートフォン向けを中心としたインターネット広告の販売をはじめ、  
**自社サービス**としてクラウド型CRMサービスやアフィリエイトネットワーク等  
マーケティングプラットフォームの運営を手がける。



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP(知的財産)の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を**自社メディア**として運営。

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「医療」「育児」に関するプラットフォーム型の事業等を展開。



(単位：百万円)	2019年9月期 期末	2018年9月期 期末	増減	主な変動
流動資産合計	25,133	26,223	△1,091	その他流動資産△538
非流動資産合計	5,280	7,148	△1,868	のれん△1,831
資産合計	30,413	33,371	△2,959	
流動負債合計	11,729	12,690	△961	営業債務△313 その他の金融負債△264 その他流動負債△426
非流動負債合計	3,875	4,951	△1,077	その他の金融負債△859 繰延税金負債△218
負債合計	15,604	17,641	△2,037	
資本合計	14,809	15,730	△921	利益剰余金△743 その他の資本構成要素△140
負債及び資本合計	30,413	33,371	△2,959	

(単位：百万円)	2019年9月期 通期	主な内訳	2018年9月期 通期
営業活動による キャッシュ・フロー	1,258	減損損失の計上+1,804 営業債務の増減額△301	△440
投資活動による キャッシュ・フロー	△205	有価証券の売却+654 有価証券の取得△730	△310
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,411	借入金の返済△1,158 配当金の支払い△253	112
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△76		41
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△434		△597
現金及び現金同等物の 期末残高	14,488		14,922